

工 事 番 号							
設計年度	令和4年度	橋梁補修工事（市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋） 三原市 大和町下徳良外					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
橋梁補修工事 N=2橋 塗装塗替工 A=119m ² 断面修復工 V=0.305m ³ 表面含浸工 A=108m ² ひび割れ補修工 L=39.2m 支承更新工 9基 支承表面保護工 8基							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則 第1節

適用

- 1 本特記仕様書は、三原市大和町下徳良外 橋梁補修工事（市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・ **土木工事共通仕様書（令和4年8月）広島版**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件

第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
施工内容 工事全般
時期 現在河川管理者と協議中であり、河川協議の内容を踏まえて施工すること。
時間 調整による
施工方法・理由 工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
工事期間中、関係工種において交通誘導員を2（人／日）見込んでいる。

第4節 工事用道路

1 一般道路

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査

受注者は、橋梁洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い、補修内容について発注者と協議を行った後、施工を行うこと。

3 有害物質を含む塗膜等の処分

受注者は塗膜除去による廃材について、有害物質を含む特別管理産業廃棄物として適切に処理しなければならない。なお、処分費については変更の対象とする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月）『1-1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 施工箇所が点在する工事の積算

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、参考図書に示す工事箇所と施工箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

（1）工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

（ア）共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、工種区分はその工事箇所の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

- c 積上げ計算による部分
施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。
- (イ) 現場管理費
 - a 現場管理費の算定
対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。
 - b 現場管理費率の補正
工事箇所ごとに施工時期, 工事期間, 施工地域及び工事場所区分の補正を行
- (ウ) 中止期間中の現場維持費等の費用
 - a 積上げ項目
施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。
 - b 率で計上する項目
対象額及び一時中止日数は施工箇所ごとに算定する。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお, 処分費等が「共通仮設費対象額(P) + 準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合, 率計算の対象については, 工事箇所ごとに対象額を算出する。

第5章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において, 受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は, 建設工事請負契約約款第54条に基づき, 法定外の労災保険の契約締結したときは, その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は, 政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり, (公財)建設業福祉共済団, (一社)建設業労災互助会, 全日本火災共済協同組合連合会, (一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で, 労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第6章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または, その内容に疑義が生じた場合は, 監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費【宮ノ下橋】				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
支存取替工		式	1	レベル3
補剛材取付		t	0.07	レベル4
現場溶接	隅肉溶接 6mm	m	29	レベル4
支承更新	ゴム支承 200KN相当	基	9	レベル4
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物	1	レベル4
表面含浸工		式	1	レベル3
床版表面含浸工	けい酸塩系表面含浸材 下地処理(水洗い,ケレン)	橋	1	レベル4
橋脚表面含浸工	シラン系表面含浸材 下地処理(水洗い,ケレン)	橋	1	レベル4
主桁遊間異常対策工		式	1	レベル3
主桁遊間異常対策		m	3	レベル4
水切り対策工		式	1	レベル3
水切り対策		m	54	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
伸縮目地補修工		式	1	レベル3
伸縮目地止水対策工	高弾性止水材 ポリブタジエン系シール材	m	11.7	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル2
塗装塗替工		式	1	レベル3
塗膜除去・運搬処分	水系剥離剤	橋	1	レベル4
素地調整	2種ケレン	橋	1	レベル4
塗装塗替え	防錆防食	橋	1	レベル4
道路付属構造物塗装工		式	1	レベル3
素地調整	ガードレール	m2	80	レベル4
中塗	長油性フタル酸樹脂塗料, ガードレール	m2	80	レベル4
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料, ガードレール	m2	80	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	Co殻(無筋)	m3	0.3	レベル4
殻処分	Co殻(無筋)	m3	0.3	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
支保工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通管理工		式		1	レベル3
** 直接工事費 **					
共通仮設費率分					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
** 工事原価 **					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

工事数量総括表

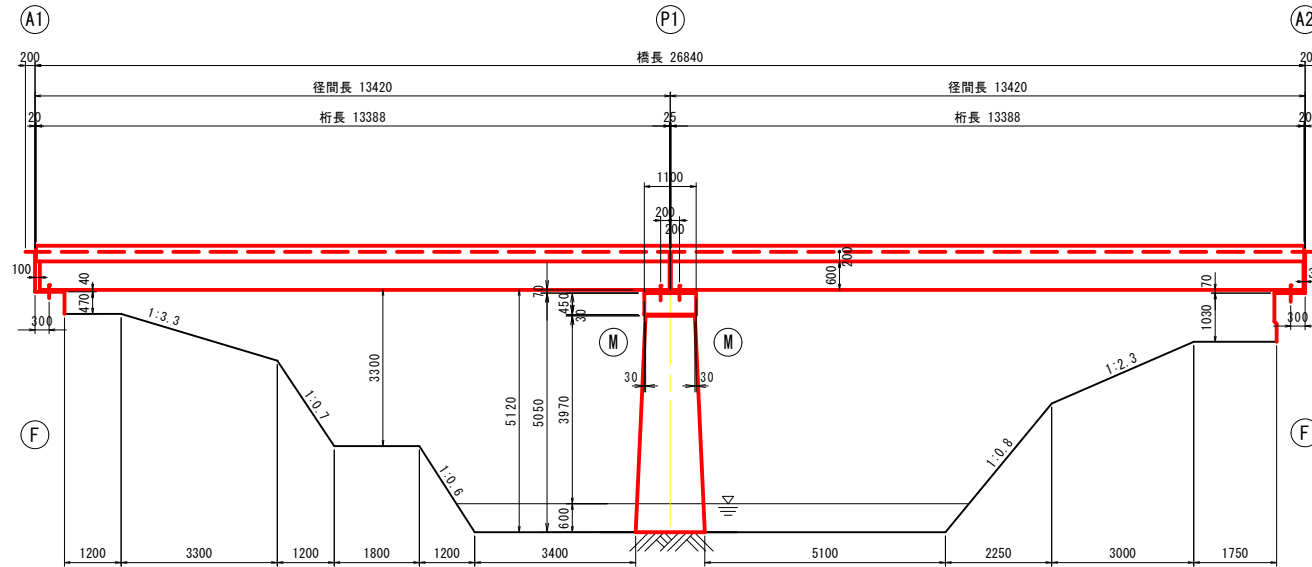
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費【横郷橋】				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	構造物	1	レベル4
支承表面保護工		式	1	レベル3
ゴム支承表面保護工	ゴム支承用対候性表面保護材	基	8	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	Co殻（無筋）	m3	0.06	レベル4
殻処分	Co殻（無筋）	m3	0.06	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
足場工		式	1	レベル3
直接工事費				
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				

工事数量総括表

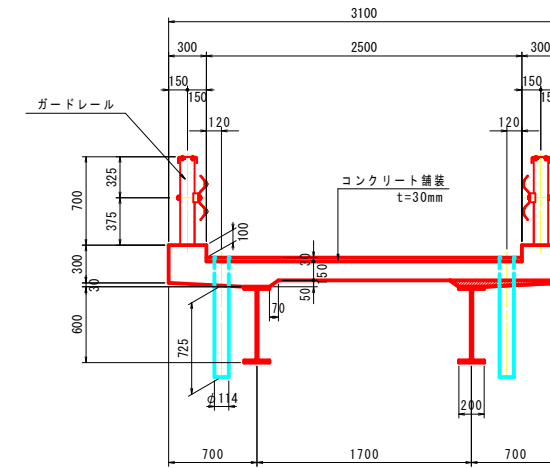
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					
契約保証費計					

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)既設橋梁一般図(その1)

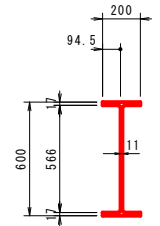
側面図 S=1/80



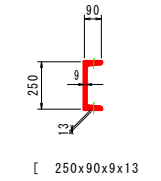
断面図 S=1/30



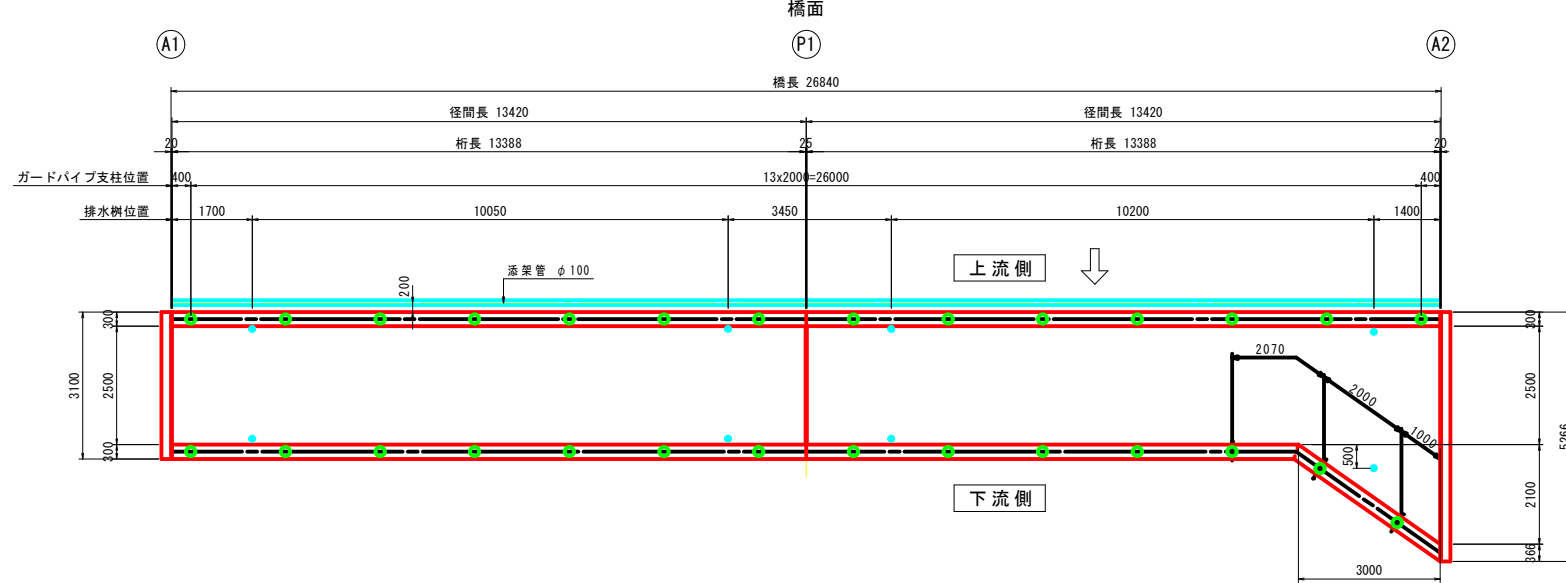
主桁詳細図 S=1/20



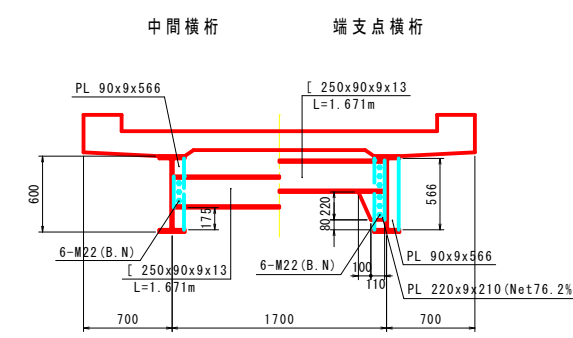
横桁詳細図 S=1/20



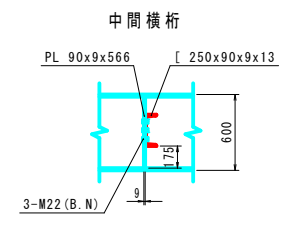
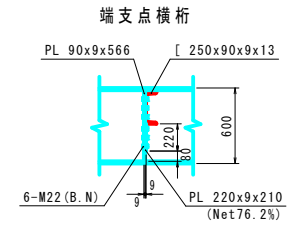
平面図 S=1/80



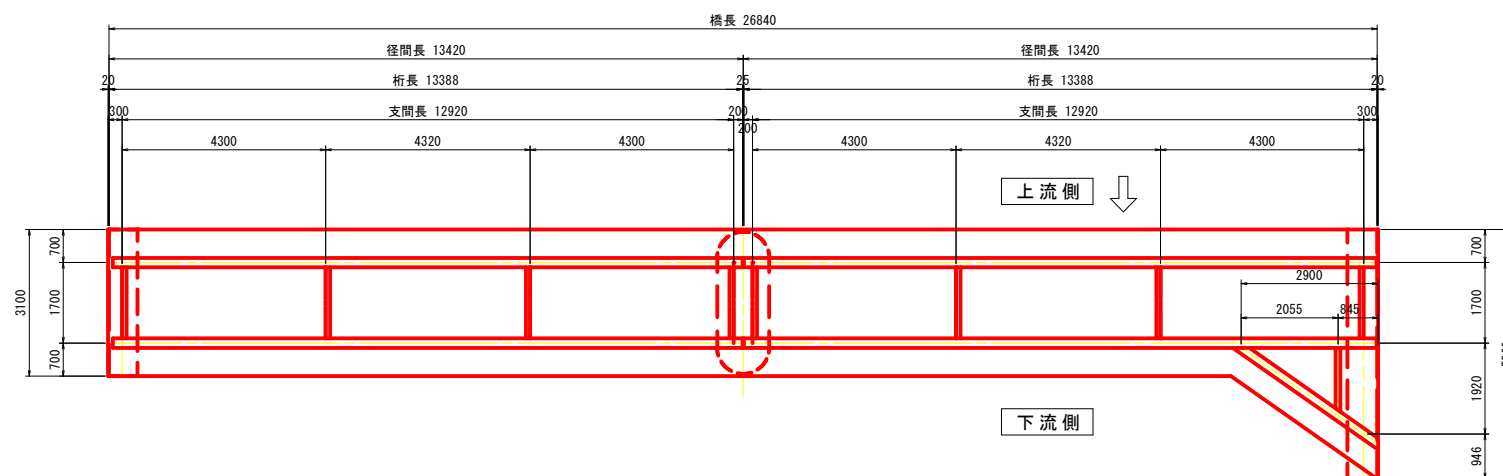
断面図 S=1/30



側面図 S=1/30



桁下面



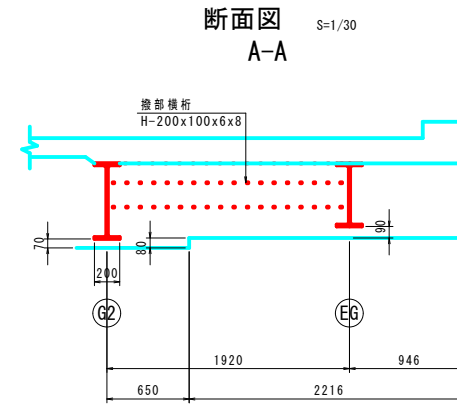
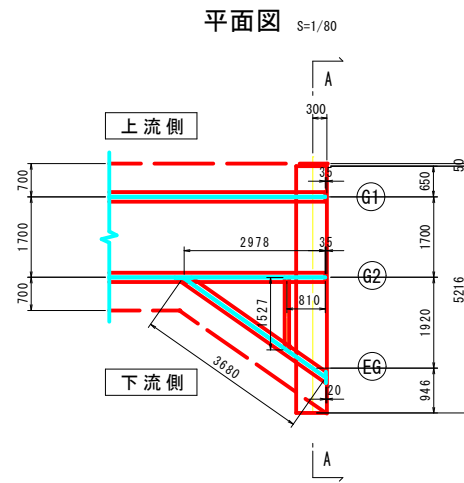
橋梁緒元

占用	徳良川
構造形式	鋼桁橋
径間数	2径間
橋長	26.840 m
幅員	3.100m(全幅)
斜角	90° 00'
平面線形	∞
舗装	コンクリート舗装
添加物	上流側:不明φ100
下部工基礎	不明
適用指針	鋼道橋設計示方書(S39)
架設年次	1975年

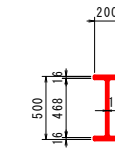
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)既設橋梁一般図(その1)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	1 / 7
会社名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)既設橋梁一般図(その2)

A2橋台撥部

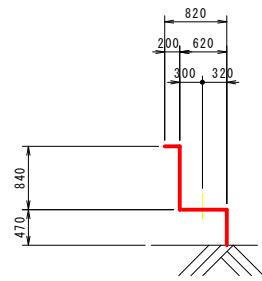


撥部主桁詳細図 S=1/30

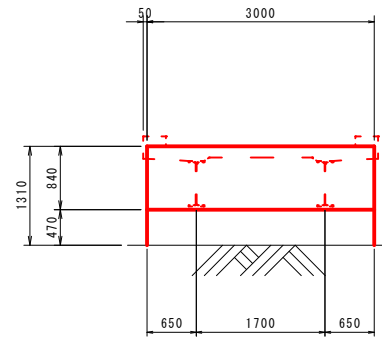


A1橋台 S=1/50

断面図

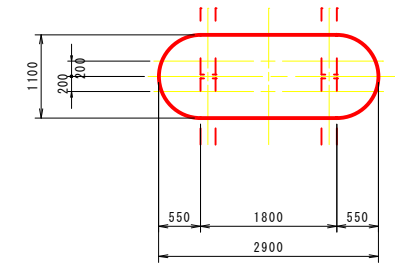


正面図

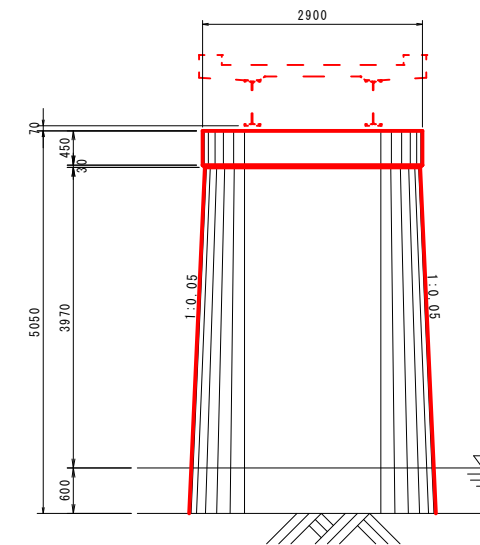


P1橋脚 S=1/50

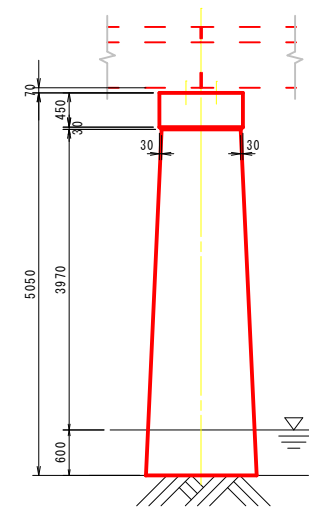
平面図



正面図

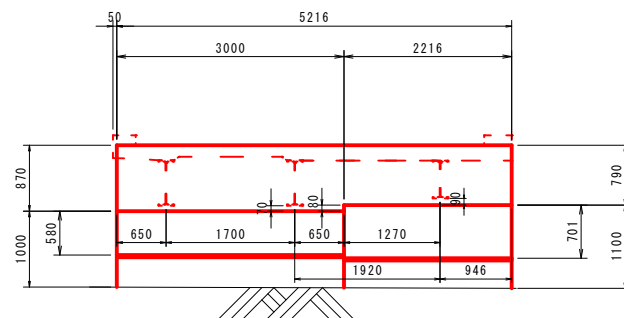


側面図

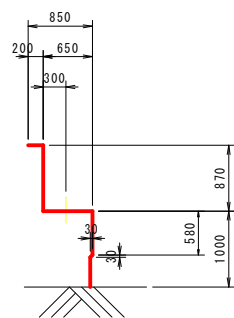


A2橋台 S=1/50

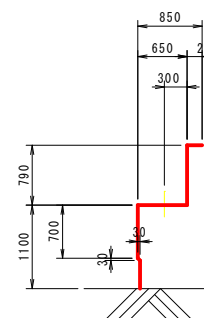
正面図



断面図

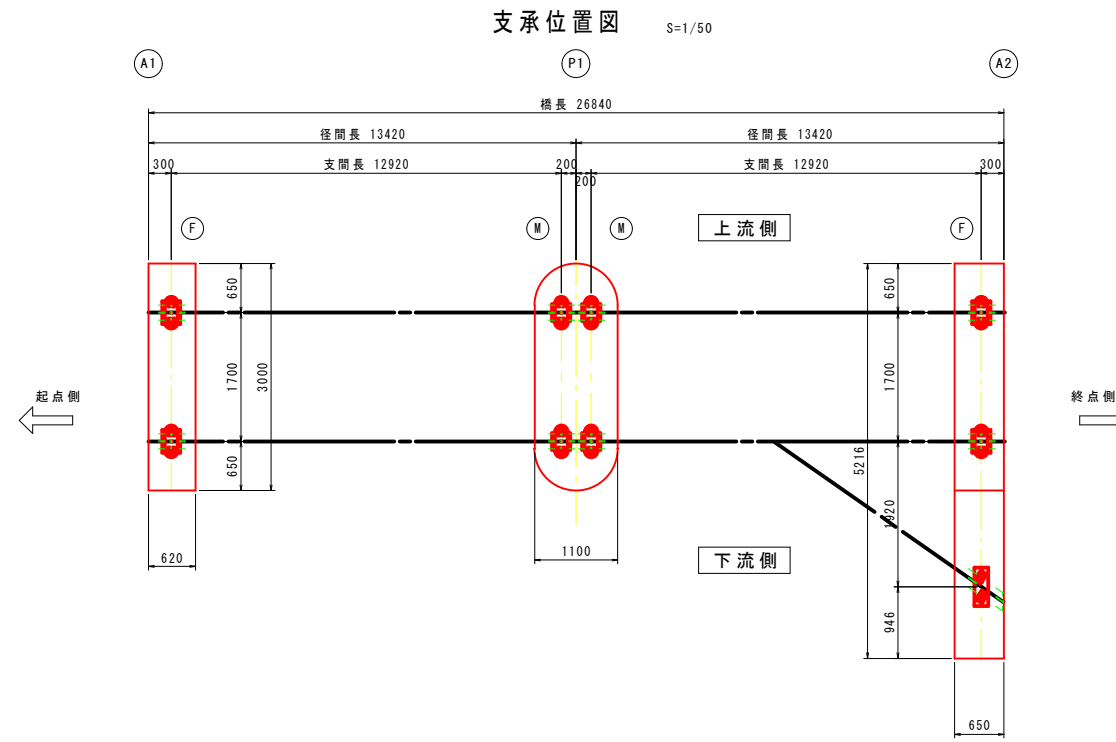


断面図

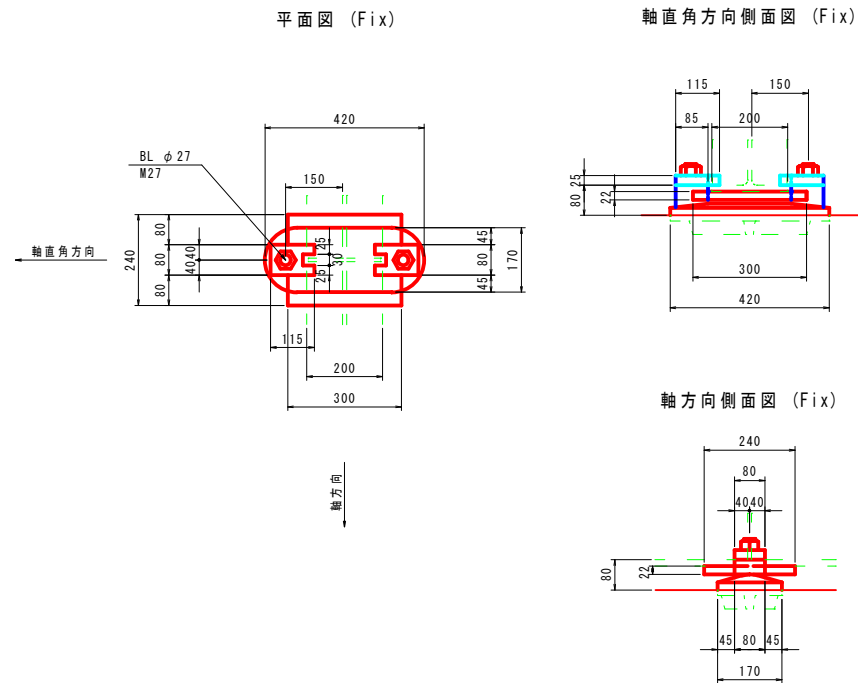


工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)既設橋梁一般図(その2)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 7
会社名			
事業者名	三原市		

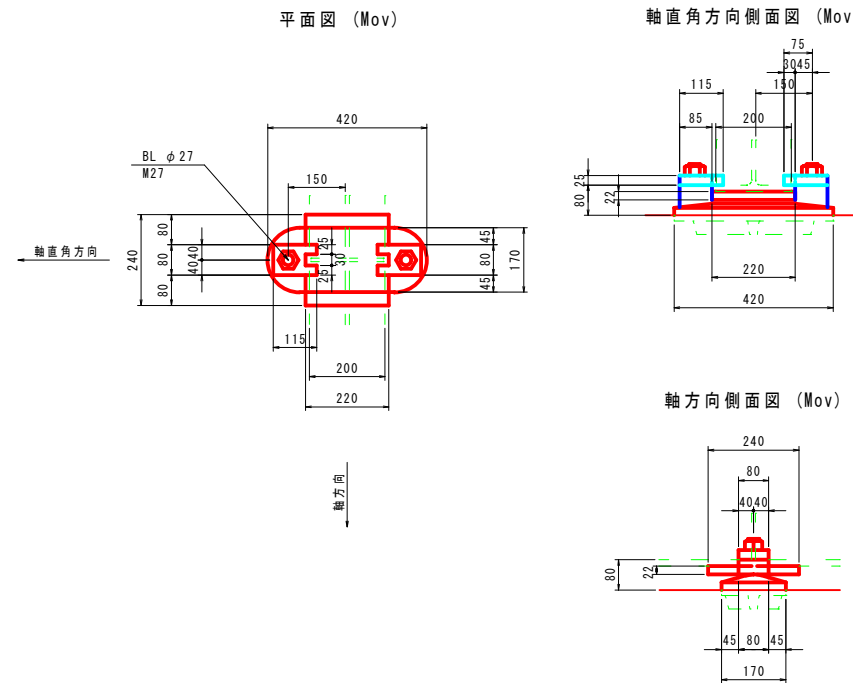
(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)既設橋梁一般図(その3)



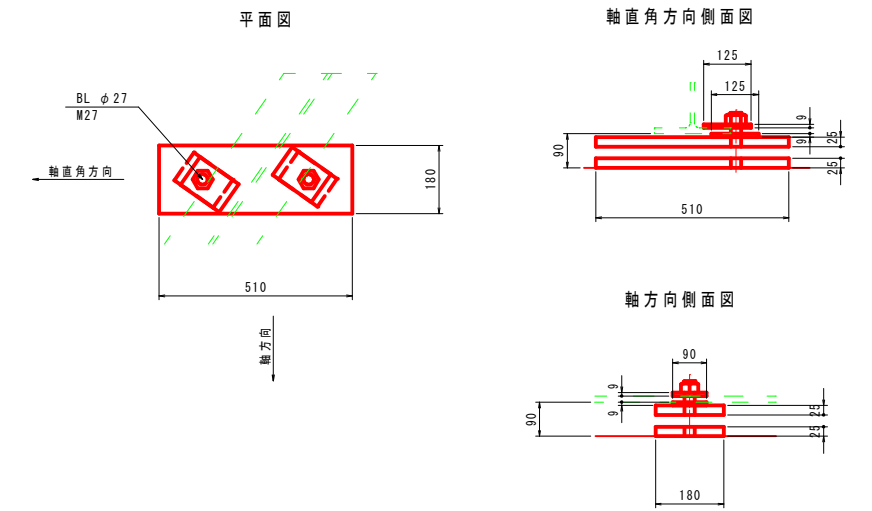
A1・A2橋台



支承詳細図 S=1/10
P1橋脚

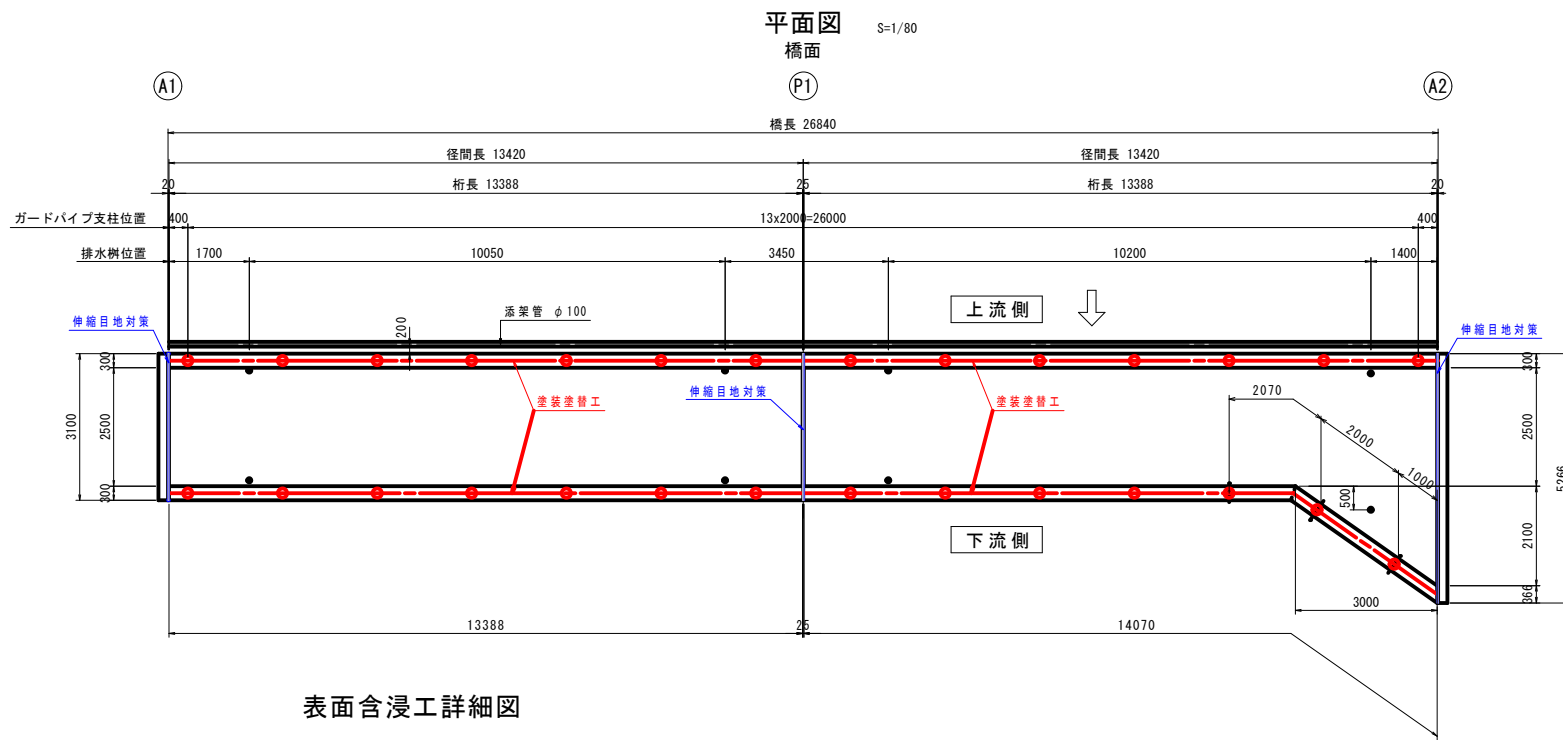
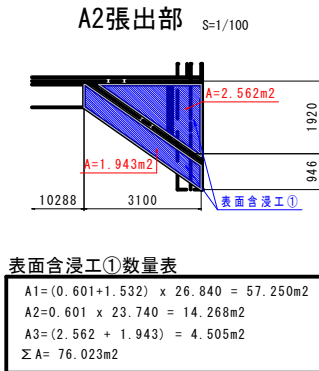
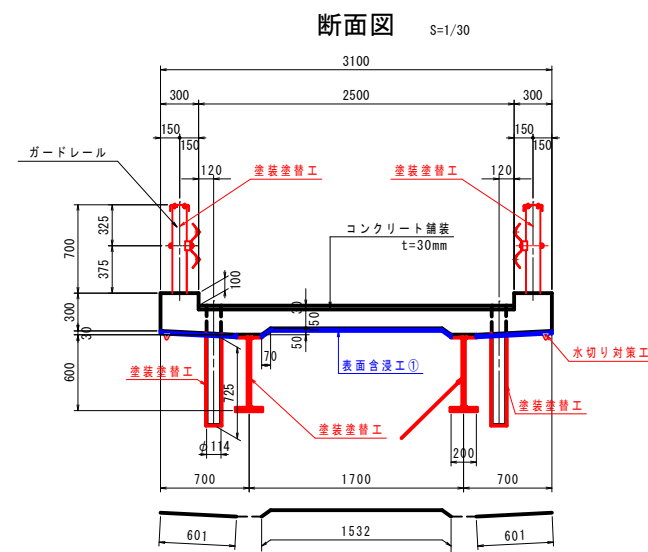
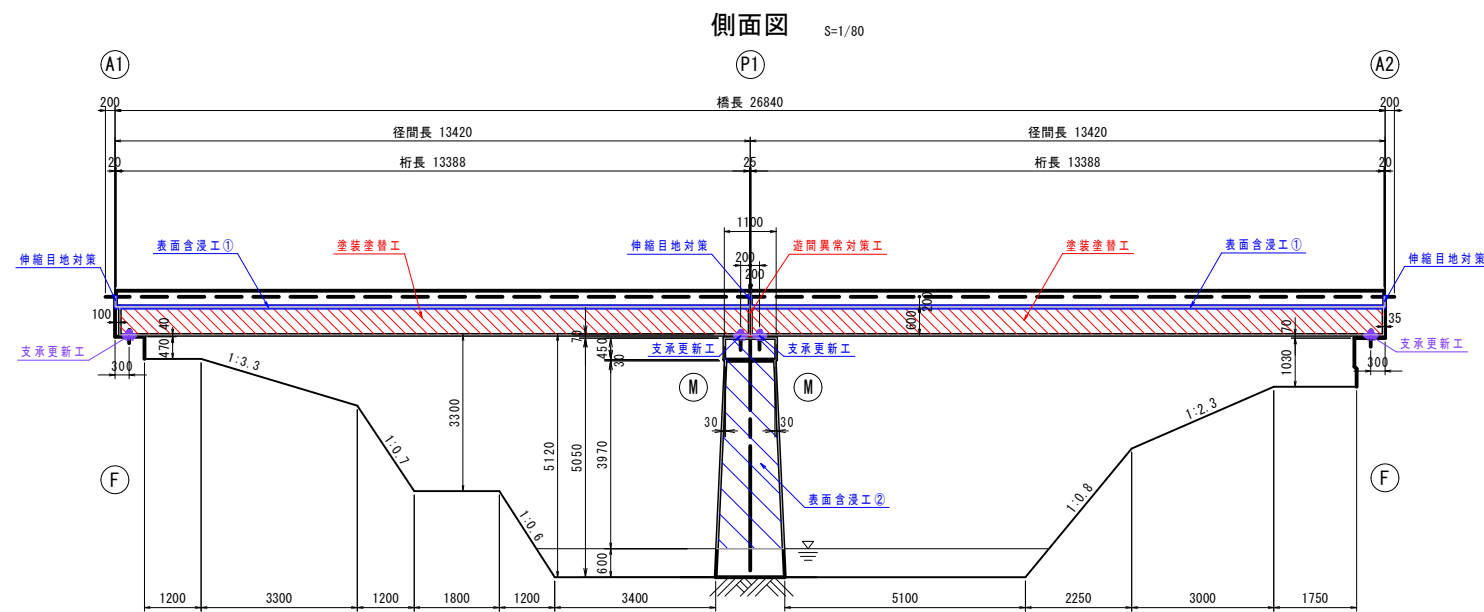


A2橋台接部

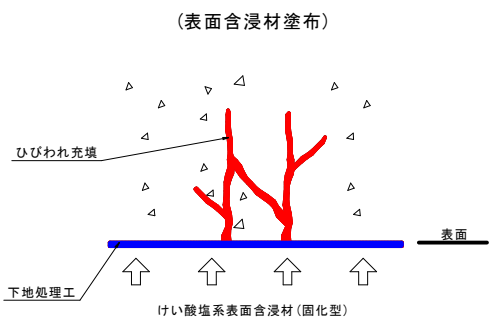


工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)既設橋梁一般図(その3)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 7
会社名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)補修一般図(その1)



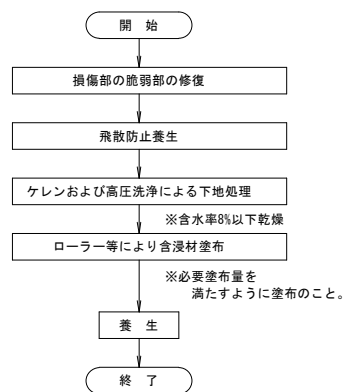
表面含浸工詳細図
表面含浸工①(床版工)



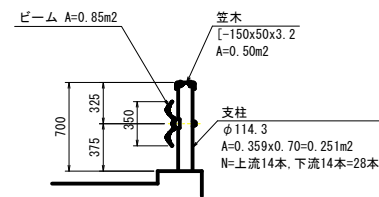
材料表

工程	仕様
表面含浸工	1層: けい酸塩系表面含浸材(固化型) <150g/m ²
	2層: けい酸塩系表面含浸材(固化型) <150g/m ²

施工フロー



ガードレール塗装塗替工 S=1/30



ガードレール数量

	上流側	下流側	計
笠木	26.80m	27.47m	54.27m
ビーム	26.80m	27.47m	54.27m
支柱	14本	14本	28本

塗装塗替工

塗装塗替仕様 ※鋼道路橋塗装・防食便覧 H27

工程	塗料名	塗装間隔
剥離剤剥離	ネオリバー泥バック橋梁用Type II	
素地調整	素地調整2種	4時間以内
塗装塗替	さび安定化防錆工法	

補修項目一覧表

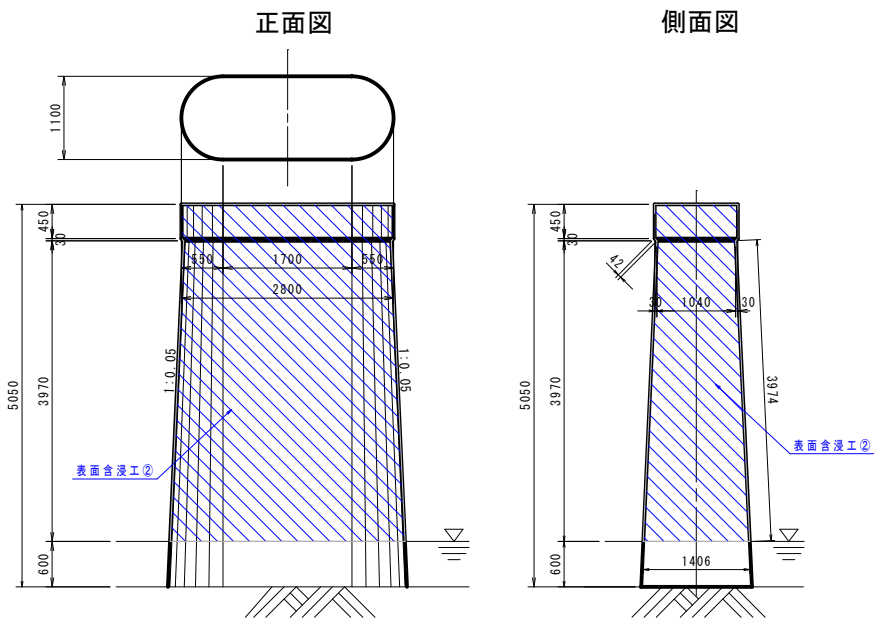
工程	補修項目	補修部位	損傷対策	摘要
主桁・横桁・排水	塗装塗替工	全面塗装	機能回復(防食機能劣化・腐食<有害物質含有>)	さび安定化防錆工法
	遊間異常対策工	中間支点部	施工不良に伴う遊間不良	ガス切断
床板	断面修復工	床板下面	うき・剥離鉄筋露出	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
	表面含浸工	床板下面	ひびわれ充填(0.2mm以下)・中性化進行抑制	表面含浸工(けい酸塩系表面含浸材)
	水切り対策工	床板	伝い水に伴う損傷抑制	後付け水切材
下部工	断面修復工	A2橋台	剥離鉄筋露出・豆板	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
	ひびわれ注入工	P1橋脚	アルカリ骨材反応ひびわれ充填	超微粒セメント+亜硝酸リチウム
	表面含浸工	P1橋脚	アルカリ骨材反応進行抑制(止水効果)	表面含浸工(シラン系表面含浸材)
支承更新工	支承更新工	全支承	支障機能不良に伴い全更新	ゴム支承更新
地覆工	断面修復工	地覆	経年劣化・遊間不良に伴う欠損	ポリマーセメントモルタル(左官工法)
伸縮目地対策工	伸縮目地対策工	伸縮目地	目地材の経年に伴う止水性能の低下	止水目地材挿入
高欄塗装工	塗装塗替工	ガードレール全面塗替	防食機能劣化	長油性フタル樹脂塗装

- 注記)
- 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 - 施工時には、天候に十分注意をすること。
 - 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - はつり後、鉄筋露出がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とす防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換すること。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
 - はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
 - はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
 - 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
 - はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
 - コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
 - 表面含浸材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
 - 表面含浸材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
 - 必要塗布量を満たすように塗布すること。
 - 塗膜かすは人体に影響する有害物質を含有するため、安全管理を徹底すること。
 - ガードレールケレン(3種ケレン)時は飛散しないように吸引式を用い、シート養生を講ずること。

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)補修一般図(その1)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 7
会社名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)補修一般図(その2)

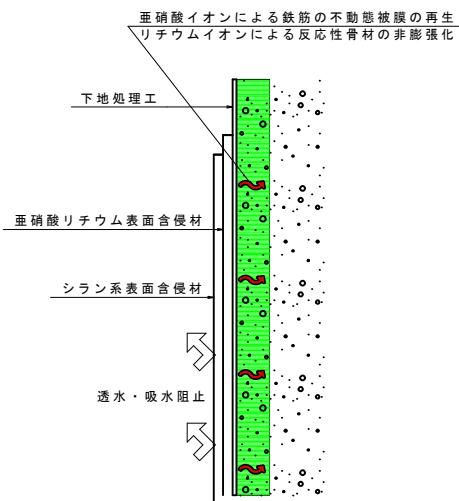
P1橋脚 S=1/50



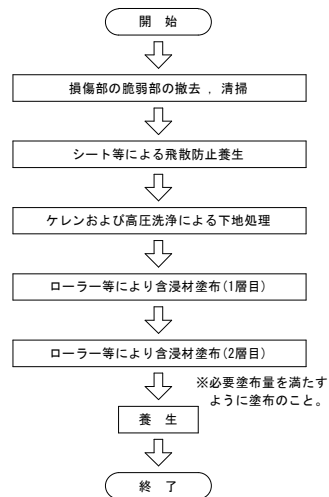
表面含浸工②数量表

A1	$(0.450 + 0.042 + 3.974) \times 1.700 \times 2 = 15.184\text{m}^2$
A2	$\phi 1.100 \times \text{P1} \times 0.450 = 1.555\text{m}^2$
A3	$(\phi 1.100 \times \text{P1} + \phi 1.040 \times \text{P1}) \times 1/2 \times 0.042 = 0.141\text{m}^2$
A4	$(\phi 1.040 \times \text{P1} + \phi 1.406 \times \text{P1}) \times 1/2 \times 3.974 = 15.269\text{m}^2$
Σ A	$= 32.149\text{m}^2$

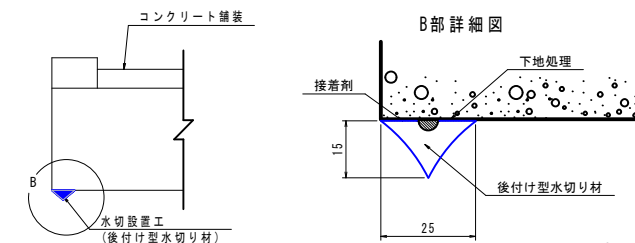
表面含浸工詳細図
表面含浸工②(橋脚工)



施工フロー



水切設置工



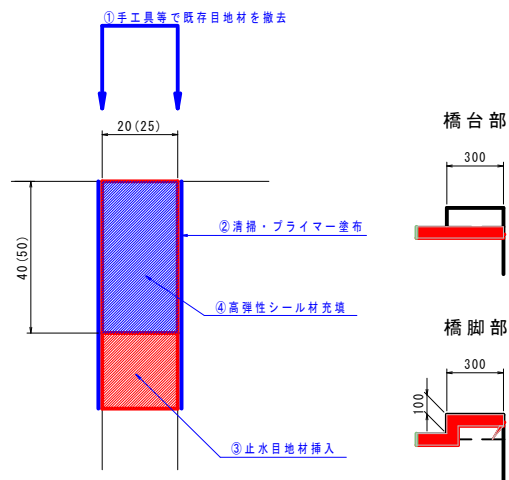
水切設置工数量表

	上流側	下流側	計
水切工	26.78m	27.46m	54.24m

注) 含浸材は、断面修復工の有無に関わらず、主桁の下面および側面全体に対して塗布すること。

1. ディスクサンダーまたはブラシ等によるケレンを行い、コンクリート表面の塵埃、油脂等の汚れを除去すること。必要に応じてプロアーも併用すること。
2. 接着剤を塗った水切り材をコンクリート表面に押し付けて取り付けること。
3. コンクリート表面に汚れが残ると接着不良を起こすので、下地処理は適切に行うこと。

伸縮目地対策工 S=1/1



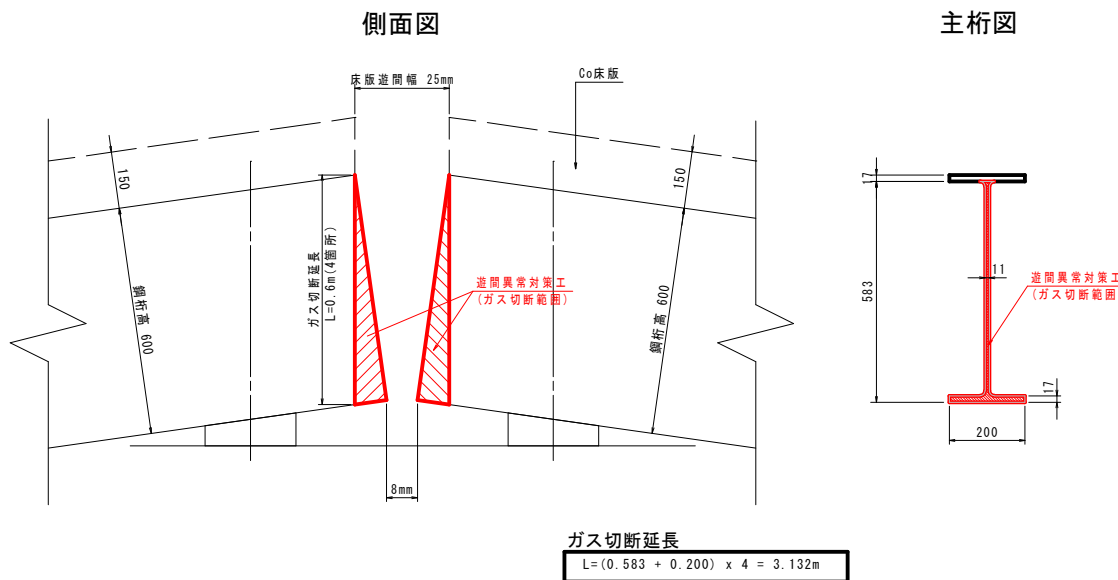
注: ()内はP1橋脚部を示す。

伸縮目地対策数量表

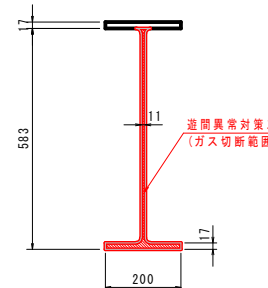
	A1側	P1側	A2側	計
高弾性シール材	3.10m	3.30m	5.27m	11.67m
止水目地材	3.10m	3.30m	5.27m	11.67m

高弾性シール材: ポリブタジエン系シール材(スカイシール同等品)
止水目地材: 止水材(メジエイド同等品)

遊間異常対策工 S=1/10



主桁図



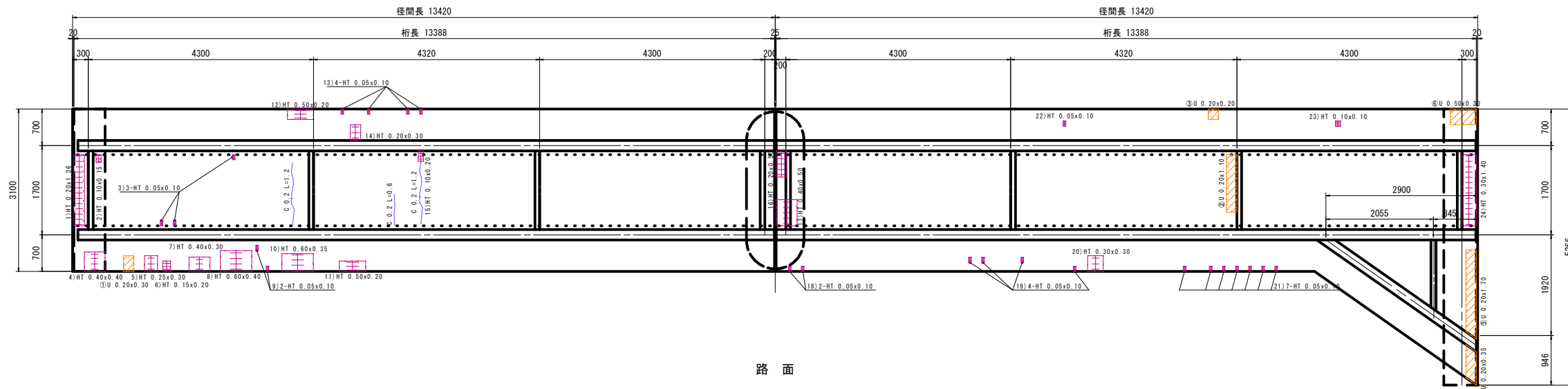
注記)

1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
3. 補修工事に当り、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4. はつり後、鉄筋露錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
6. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
7. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
8. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
9. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
10. 表面含浸材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
11. 表面含浸材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
12. 必要塗布量を満たすように塗布すること。
13. 塗膜かすは人体に影響する有害物質を含有するため、安全管理を徹底すること。
14. ガードレールケレン(3種ケレン)時は飛散しないように吸引式を用い、シート養生を講じること。

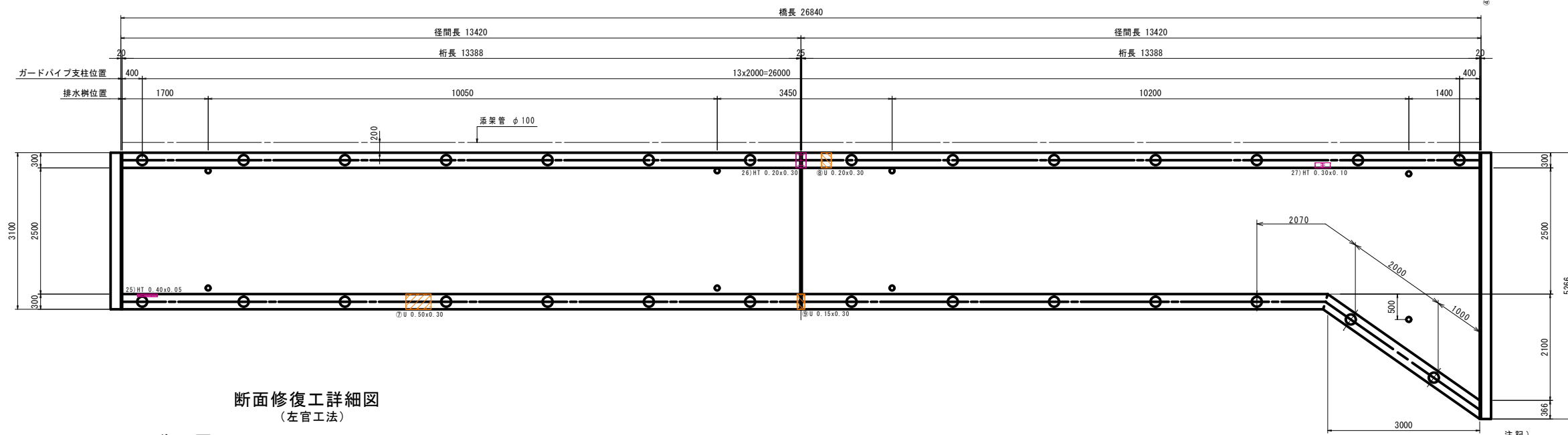
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)補修一般図(その2)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	5 / 7
会社名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)補修図(その1)

平面図 S=1/50
桁下面



路面

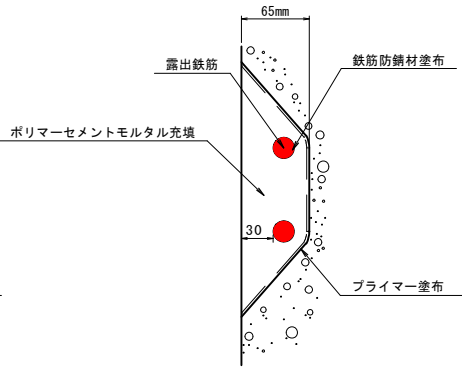
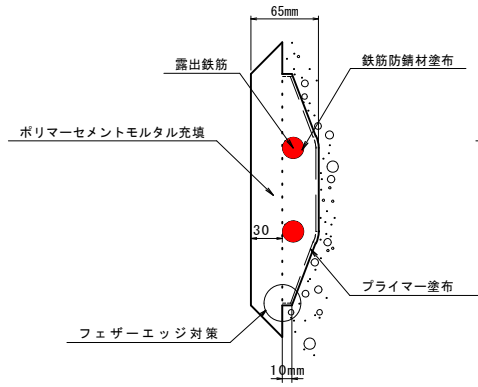


断面修復工詳細図 (左官工法)

復旧図

かぶり不足部位

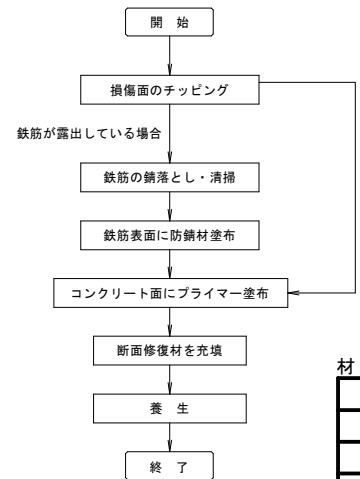
かぶり確保部位



注) はつり時において鉄筋腐食が著しく断面欠損している場合には、補強鉄筋を設置する。

※1) かぶり: 30mm
※2) 65mm=30mm(かぶり)+16mm+1D(D16)以上

施工フロー



材料表

工程	仕様
プライマー	新旧打継用エポキシ系接着剤相当
鉄筋防錆材	エポキシ樹脂系錆防止防錆剤相当 (NEXCO 鉄筋防錆剤品目規格適合)
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材 (NEXCO 断面修復材品目規格適合)

凡例

C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ (1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剝離
HT	コンクリートの剝離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
M	ジャンカ

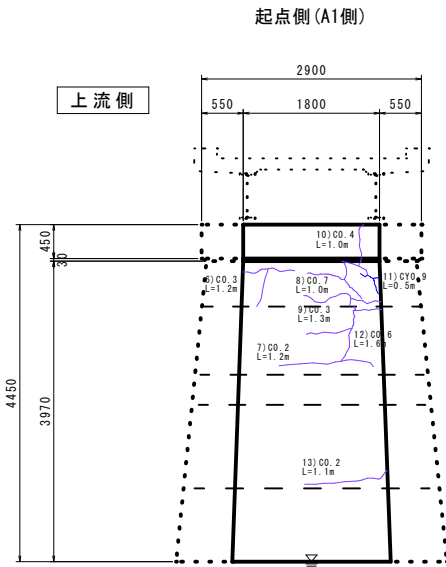
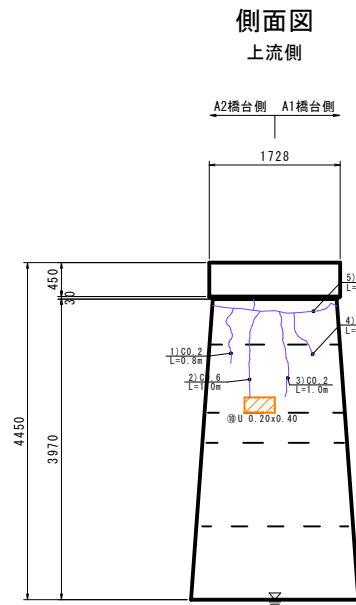
注記)

1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
3. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4. はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
5. はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
6. はく落防止として必要であればメッシュ等を配置し対応すること。
7. 防錆材は塗り残しがないよう入念に行うこと。
8. はつり面に凹凸がある場合は既設コンクリート面と修復材との間に空隙が残らない様に適切な処置を行うこと。
9. コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
10. はつり後、ひび割れ損傷が深層部に確認される場合は、ひびわれ注入工と併用し施工すること。

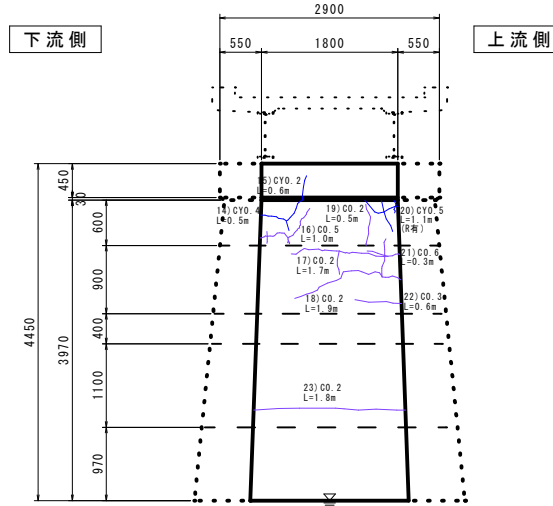
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)補修図(その1)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 7
会社名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)補修図(その2)

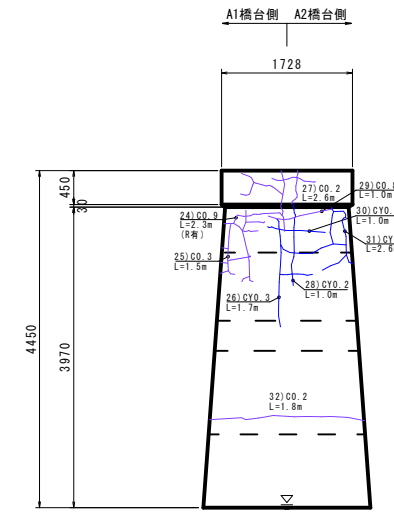
P1橋脚 S=1/50



正面図

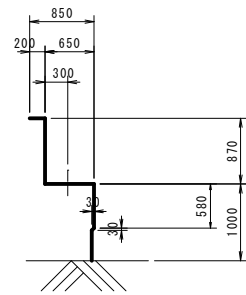


側面図
下流側

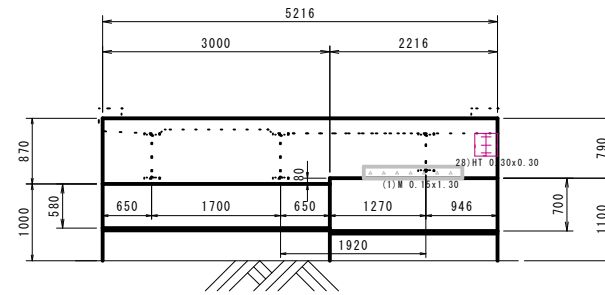


A2橋台 S=1/50

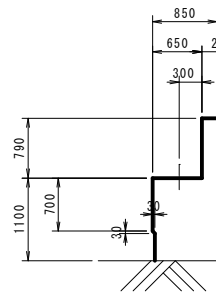
断面図



正面図



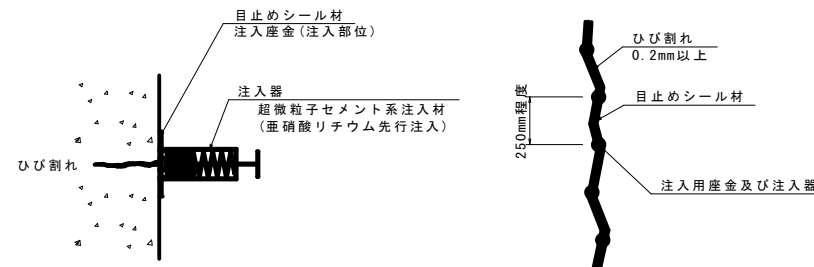
断面図



凡例

	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	ひび割れ (1.0mm以上)
	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
	コンクリートの浮き
	コンクリートの剥離
	コンクリートの剥離・鉄筋露出
	遊離石灰又はエフロレッセンス
	漏水
	ジャンカ

ひびわれ注入工詳細図

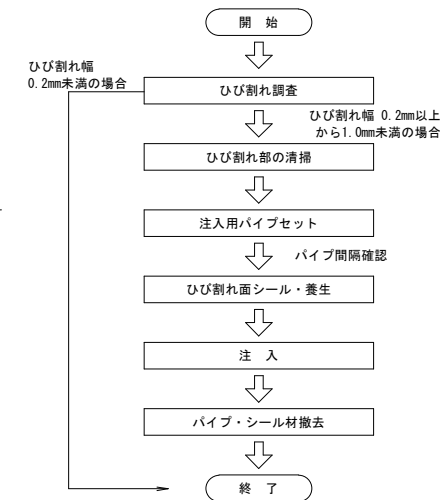


- 注記)
1. シール範囲は施工前に下地処理を行うこと。
 2. 下地処理後はエアークリーンなどで付着した粉塵等を十分除去すること。

材料表

工 程	仕 様
ひびわれ注入工	超微粒子セメント系ひびわれ注入材 + 浸透拡散重硝酸リチウム (40%) 水溶液

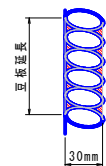
施工フロー



注記)

1. 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
2. 施工時には、天候に十分注意をすること。
3. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
4. 表面含浸材塗布前にはケレン処理、高圧洗浄などにより、塗布面を十分に清掃し、汚れやエフロレッセンスなどを除去すること。
5. 表面含浸材塗布前にはCo損傷部は事前に補修を施すこと。
6. 必要塗布量を満たすように塗布すること。

豆板修復工詳細図
(左官工法)



材料表

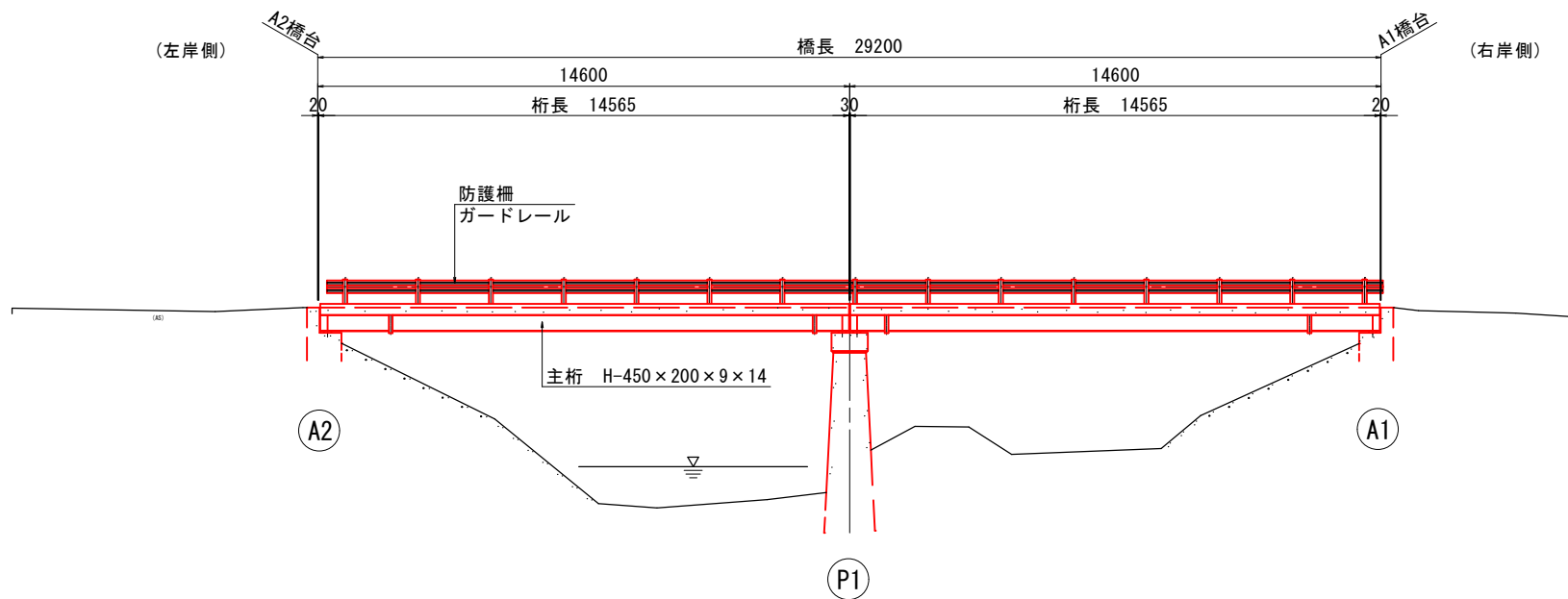
工 程	仕 様
プライマー	新旧打継工エポキシ系接着剤相当
断面修復工	ポリマーセメントモルタル材 (NEXCO 断面修復材品質規格適合)

- 注) 粗骨材は露出しているが、表層の粗骨材をたたいても剥落しない。(コンクリート診断技術)
- ポリマーセメント塗布 (30mm)

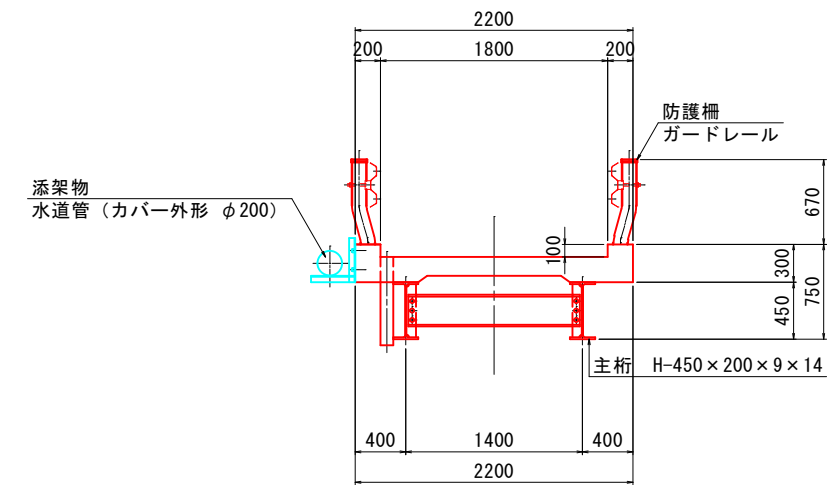
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)補修図(その2)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	7 / 7
会社名			
事業者名	三原市		

横郷橋 現況一般図

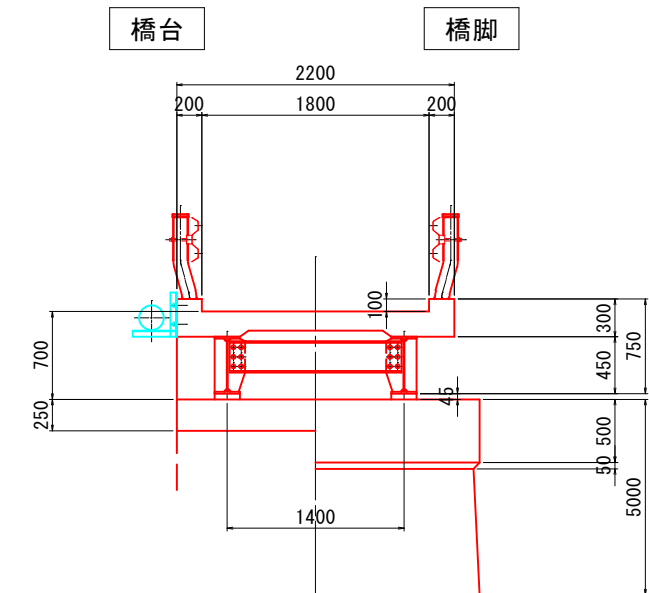
側面図 S=1:100



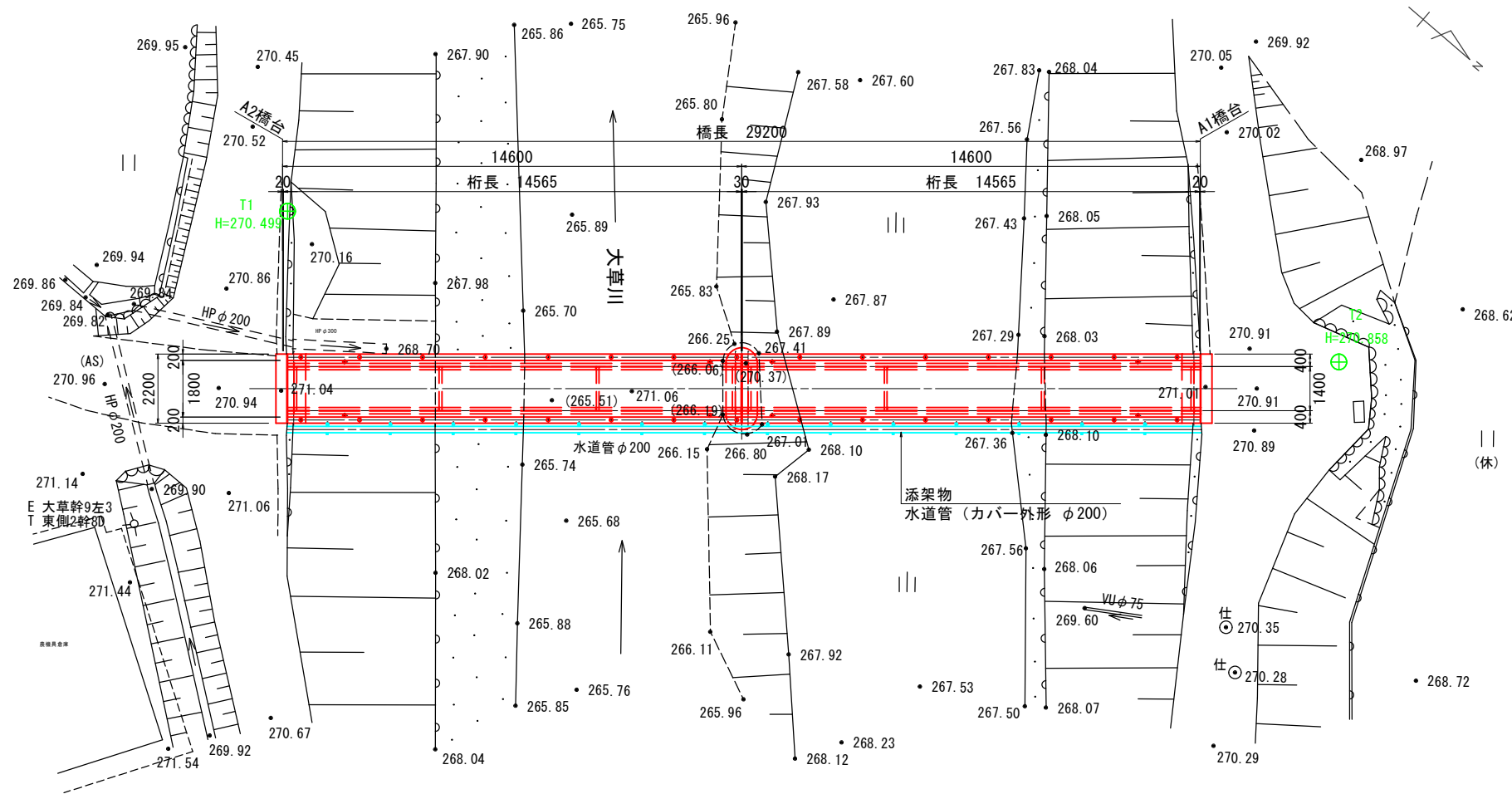
上部工断面図 S=1:30 (標準部)



上部工断面図 S=1:30 (下部工部)



平面図 S=1:100

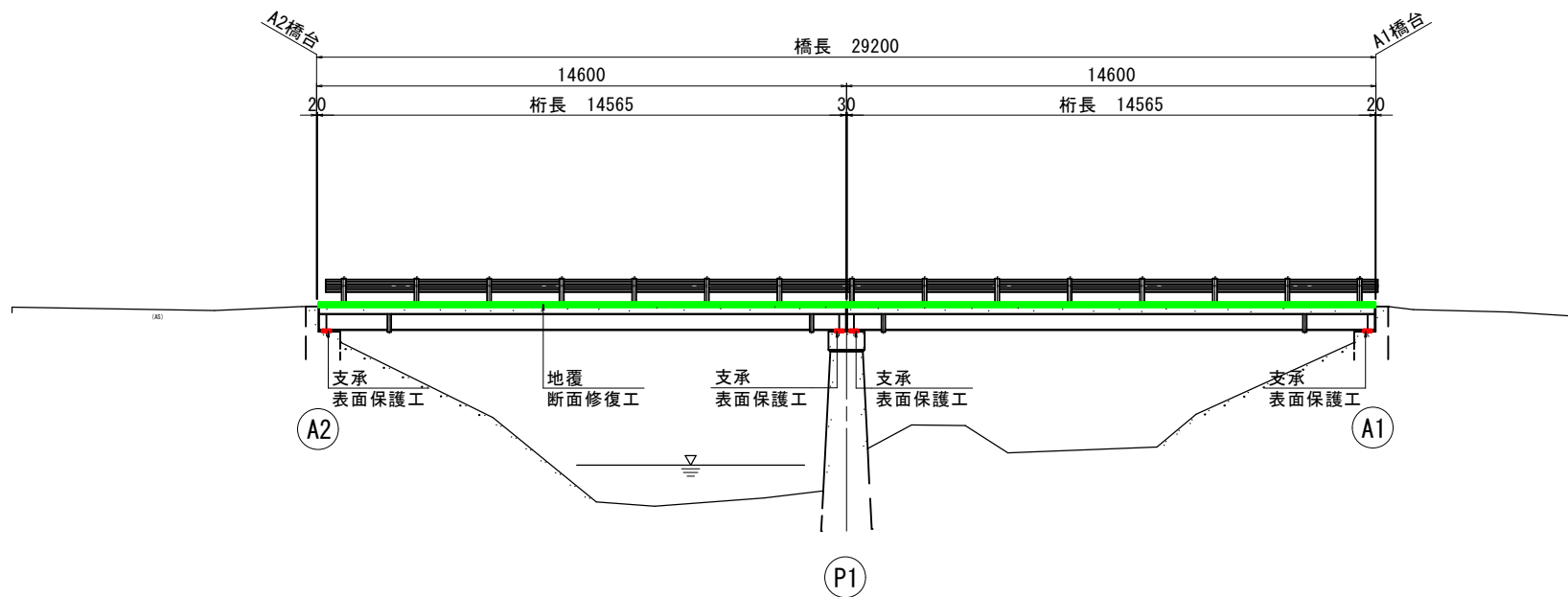


DL=260.00

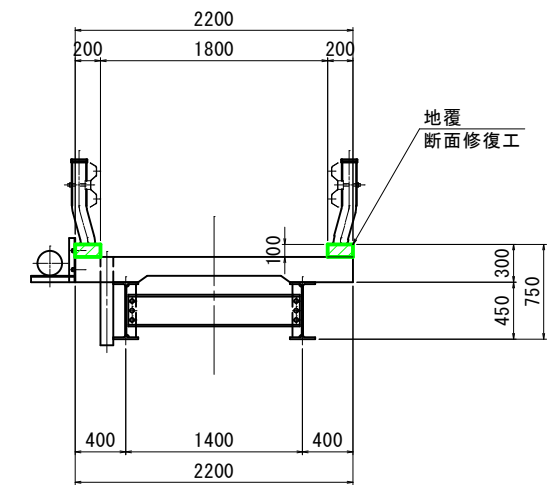
横郷橋	
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)
図面名	横郷橋 現況一般図
作成年月日	令和 3年 9月
縮尺	図示 図面番号 1 / 4
会社名	
事業者名	三原市

横郷橋 補修対策工一般図

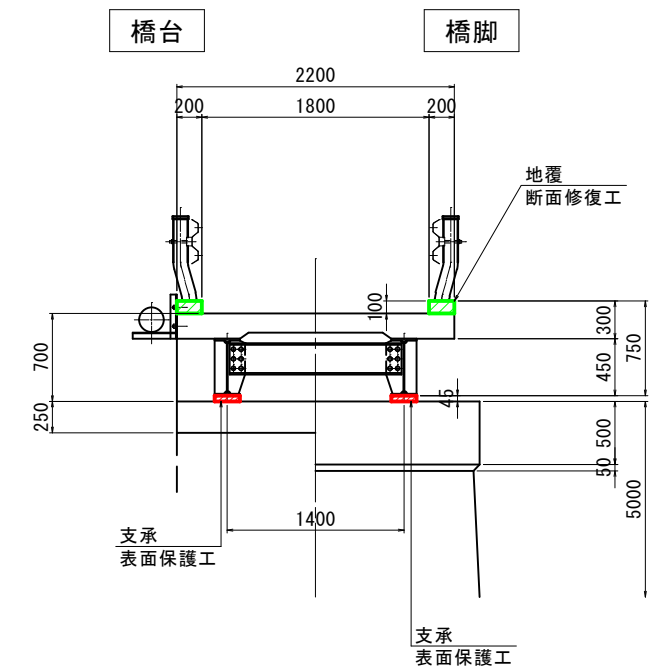
側面図 S=1:100



上部工断面図 S=1:30
(標準部)

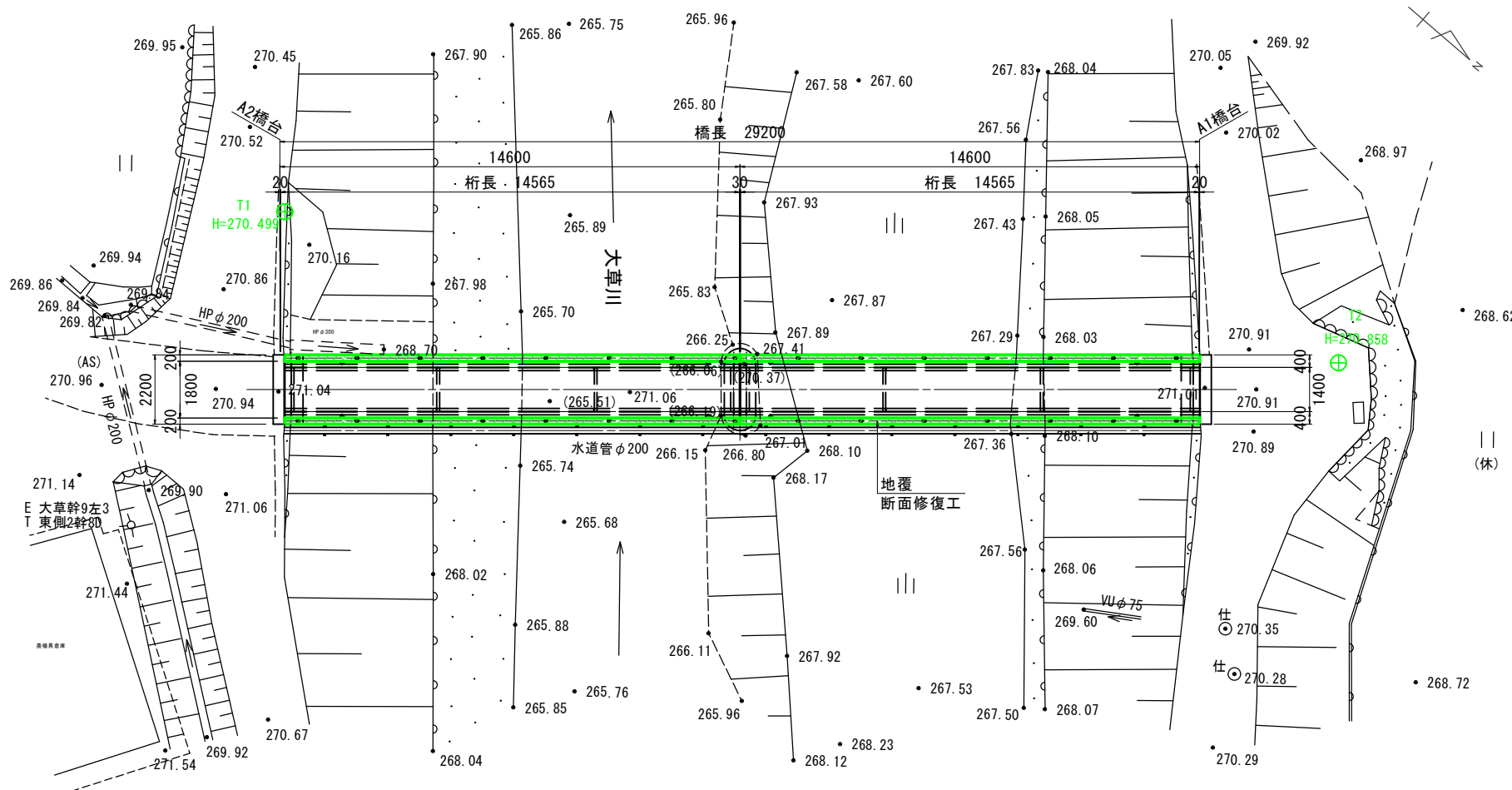


上部工断面図 S=1:30
(下部工部)



DL=260.00

平面図 S=1:100



横郷橋	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	横郷橋 補修対策工一般図		
作成年月日	令和 3年 9月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 4
会社名			
事業者名	三原市		

横郷橋 補修図 (その1) S=1:40

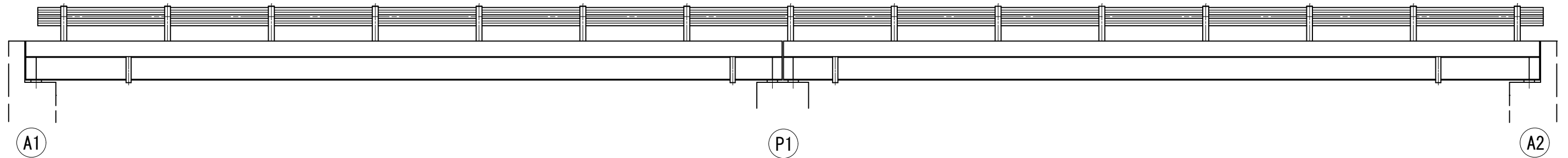
桁上面 (A1~A2)

凡例

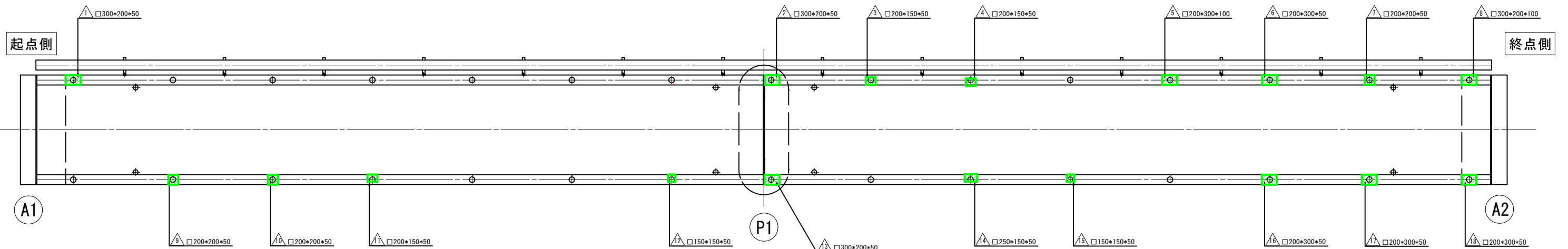
補修の種類	表示
断面修復	

※ ○, △, □, ▽ の数字は、補修番号を示す。

側面図 (地覆外側 上流側)

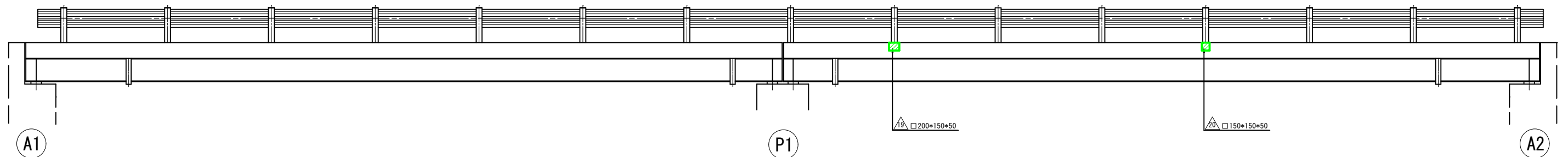


上流側



下流側

側面図 (地覆外側 下流側)

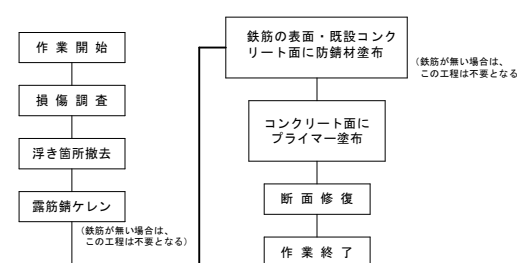
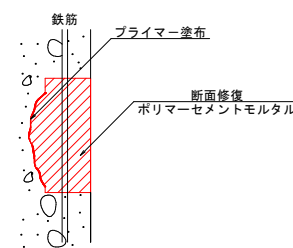
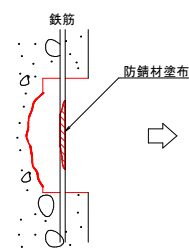
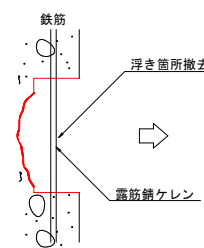
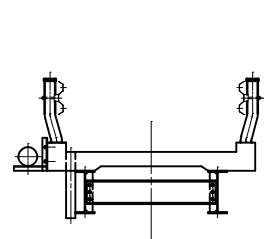


断面修復工 (参考図)

上流側

下流側

側面



(特記事項)

1. 図中詳細寸法は、現地計測のうえ決定すること。
2. 断面修復部に関しては、コンクリート脆弱部を確認し、修復深さ・範囲を決定すること。
(端部はL字カットを行うこと)
3. 鉄筋を露出する場合は、鉄筋背面までではつり出すこと。
4. 断面修復部の施工は左官工法とするが、状況に応じて工法を決定すること。
5. 既設鉄筋が腐食し、断面減少が著しい場合は、新たに鋼材(既設鉄筋径)を追加する。
6. はつり深さは想定である。既設鉄筋の裏側10mm程度を目安にすること。
(断面修復の深さは、50mmと想定し数量計上する。)

横郷橋

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	横郷橋 補修図 (その1)		
作成年月日	令和 3年 9月		
縮尺	図示	図面番号	3 / 4
会社名			
事業者名	三原市		

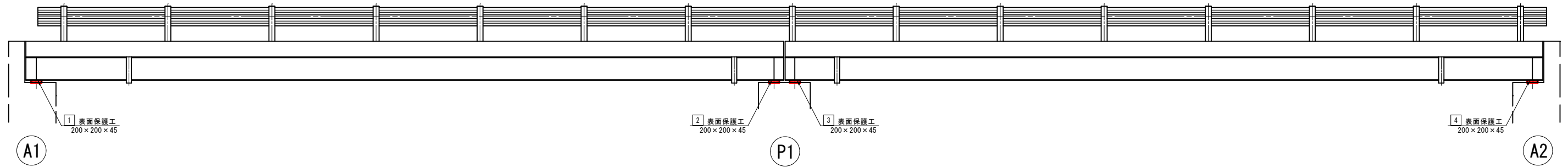
横郷橋 補修図 (その2) S=1:40

桁下面 (A1~A2)

凡例	
補修の種類	表示
表面保護工	斜線
支承表面保護工	斜線

※ ○、△、□、▽の数字は、補修番号を示す。

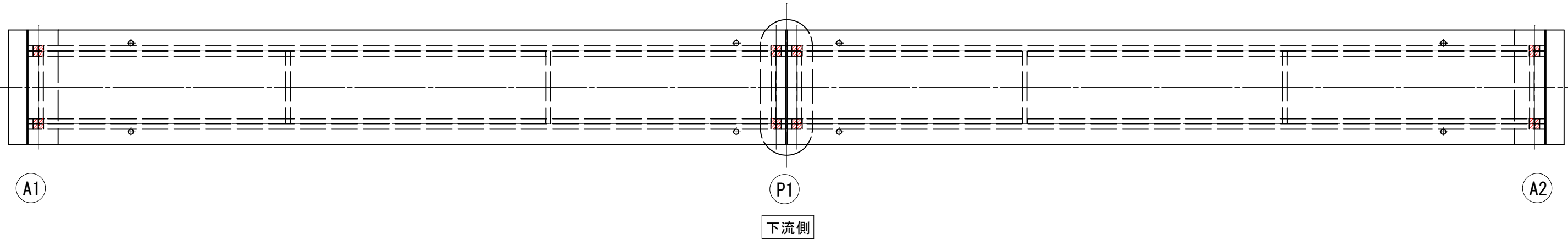
側面図 (地覆外側 上流側)



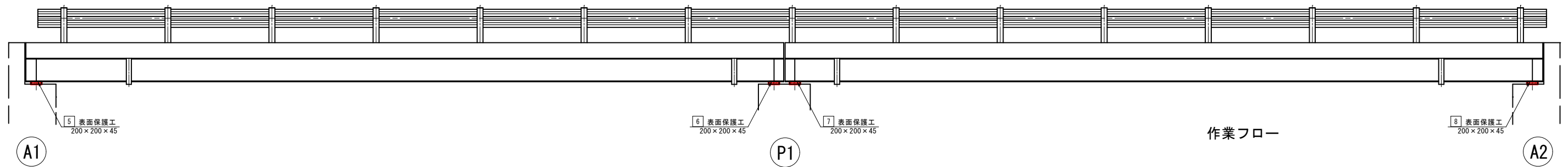
起点側

上流側

終点側

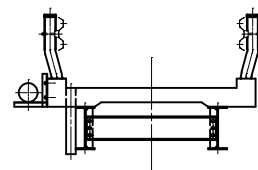


側面図 (地覆外側 下流側)

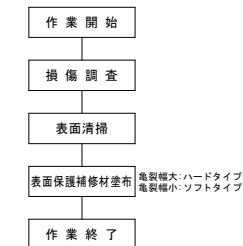


上流側

下流側



作業フロー



(特記事項)

1. 図中詳細寸法は、現地計測のうえ決定すること。
2. 塗布面が乾燥した状態で使用すること。

横郷橋

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	横郷橋 補修図 (その2)		
作成年月日	令和 3年 9月		
縮尺	図示	図面番号	4 / 4
会社名			
事業者名	三原市		

参 考 資 料

— 橋梁補修工事（市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 48 三原市(大和) 00-04.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co・・・コンクリート As・・・アスファルト DT・・・ダンプトラック BH・・・バックホウ CC・・・クローラクレーン TC・・・トラッククレーン RTC・・・ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費【宮ノ下橋】					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
支承取替工	1	式			Y1G032402 レベル3
補剛材取付	1	式			Y4999 レベル4
鋼板 SM400 t=9mm	0.07	t			V1008 00
現場溶接 隅肉溶接 6mm	0.07	t			単第0 -0001 表 Y4999 レベル4
現場溶接鋼桁補強	29	m			SPK22040342 00
支承更新 ゴム支承 200KN相当	29	m			単第0 -0002 表 Y4999 レベル4
	9	基			

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ゴム支承取替 200KN相当 支保工含む	1	式			V1007 00 単第0 -0003 表
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 超微粒子セメント系ひびわれ注入材 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	1	構造物			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長39.2m	1	構造物			V1020037 00 単第0 -0005 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.25m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0007 表
表面含浸工	1	式			Y1G032406 レベル3
床版表面含浸工 けい酸塩系表面含浸材 下地処理(水洗い,ケレン)	1	橋			Y4999 レベル4

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸工（簡易清掃） 時間的制約無，高所作業車無	76	m2			F10403 00
表面含浸工（下地処理） 時間的制約無，高所作業車無	76	m2			F10404 00
けい酸塩素系表面含浸材（固化型） Osmo-KK相当 材工共	76	m2			F10501 00
橋脚表面含浸工 シラン系表面含浸材 下地処理（水洗い，ケレン）	1	橋			Y4999 レベル4
表面含浸工（簡易清掃） 時間的制約無，高所作業車無	32	m2			F10403 00
表面含浸工（下地処理） 時間的制約無，高所作業車無	32	m2			F10404 00
亜硝酸リチウム併用型表面含浸工 シラン系表面含浸材	32	m2			V1004 00
主桁遊間異常対策工	1	式			単第0 -0008 表 Y3999 レベル3
主桁遊間異常対策	3	m			Y4999 レベル4

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
補修工事ガス切断工 切削仕上げ	3	m			V1006 00 単第0 -0009 表
水切り対策工	1	式			Y3999 レベル3
水切り対策	54	m			Y4999 レベル4
水切り設置工 コンクリート構造物用水切り材	54	m			V1011 00 単第0 -0010 表
伸縮目地補修工	1	式			Y3999 レベル3
伸縮目地止水対策工 高弾性止水材 ポリブタジエン系シール材	11.7	m			Y4999 レベル4
伸縮目地止水対策工 高弾性止水材 ポリブタジエン系シール材	11.7	m			V1010 00 単第0 -0011 表
現場塗装工	1	式			Y1G0325 レベル2
塗装塗替工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜除去・運搬処分 水系剥離剤	1	橋			Y4999 レベル4
塗膜剥離剤散布・塗膜除去 水系剥離剤	119	m2			V1001 00 単第0 -0012 表
産業廃棄物収集運搬 三原市～処分先	1	式			F10104 00
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
産業廃棄物焼却熔融処分 特管汚泥（橋梁塗膜） 重量100kg以上	127	kg			F10105 00
素地調整 2種ケレン	1	橋			Y4999 レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	119	m2			SDT00029 00 単第0 -0013 表
塗替塗装 素地調整	119	m2			SDT00029 00 単第0 -0014 表
塗替塗装 研削材及びケレンかす回収・積込工	119	m2			SDT00029 00 単第0 -0015 表

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗装塗替え 防錆防食	1	橋			Y4999 レベル4
塗装塗替え工 さび安定化防錆工法相当 主桁119m2	1	式			V1003 00 単第0 -0016 表
道路付属構造物塗装工	1	式			Y1G032502 レベル3
素地調整 ガードレール	80	m2			Y1G03250201 レベル4
素地調整 防護柵類	80	m2			SPK22040308 00 単第0 -0017 表
中塗 長油性フタル酸樹脂塗料, ガードレール	80	m2			Y1G03250203 レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	80	m2			SPK22040309 00 単第0 -0018 表
上塗 長油性フタル酸樹脂塗料, ガードレール	80	m2			Y1G03250204 レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	80	m2			SPK22040309 00 単第0 -0019 表

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 Co殻（無筋）					Y1G03271601 レベル4
	0.3	m3			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)					SPK22040142 00
	0.3	m3			単第0 -0020 表
殻処分 Co殻（無筋）					Y1G03271602 レベル4
	0.3	m3			
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
再生資源化施設受入費 Co殻（無筋）					F9001 00
	0.6	t			
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
足場工					Y3999 レベル3
	1	式			

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
吊足場					Y4999 レベル4
	58	m2			
足場工（床版補強工） 桁高1.5m未満					S3030011 00
	58	m2			単第0 -0021 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔					S3030013 00
	58	m 2			単第0 -0022 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	58	m 2			単第0 -0023 表
橋脚回り足場					Y4999 レベル4
	10	m2			
足場工（橋梁回り足場） 朝顔，シート防護含む					F20101 00
	10	m2			
支保工					Y3999 レベル3
	1	式			
支保工基礎					Y4999 レベル4
	0.5	m3			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設					SPK22040144 00
	0.5	m3			単第0 -0024 表

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物とりこわし工(無筋構造物) 人力施工	0.5	m3			SDT00031 00 単第0 -0025 表
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)	0.5	m3			SPK22040142 00 単第0 -0020 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
再生資源化施設受入費 Co殻(無筋)	1.2	t			F9001 00
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員	62	人			Y1G03282101 レベル4
交通誘導警備員B	62	人			R0369 00
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費【宮ノ下橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					

施工単価表

ゴム支承取替
200KN相当

V1007

単第0 -0003 表

支保工含む

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ゴム支承 190*190*37 SR沓	5	枚			
ゴム支承 270*190*58 SR沓	4	枚			
アンカーボルト 25×390 SGめっき	10	組			
アンカーボルト 25×410 SGめっき	8	組			
フラットジャッキ 水注入方式	1	式			
フラットジャッキリース料 水注入方式	28	日			
ゴム支承取替 200KN相当 支保工含む	9	基			単第0-0004 表
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長39.2m

S1020037

単第0 -0006 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.274	人			
特殊作業員	3.763	人			
普通作業員	2.783	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600相当	2.080	kg			
可とう性エポキシシール材 E380F相当	16.591	kg			
低圧注入器具 無機系用 リハビリシリンダー 5回転用	32.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=39.2 C=2.08 E=12.11 G=32	1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) 注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		B=2 D=3 F=4	【F】注入材(kg) 【F】シール材(kg) 【F】低圧注入器具(個)	

施工単価表

亜硝酸リチウム併用型表面含浸工
シラン系表面含浸材

V1004

単第0 -0008 表

32.1

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
亜硝酸リチウム40%水溶液 プロコン40相当	10.59	kg			
シラン・シロキサン系表面含浸材 プロコンガードS相当	6.36	kg			
諸雑費	5	%			#01 消耗品等
*** 合計 ***	32.1	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

伸縮目地止水対策工
高弾性止水材

V1010
ポリブタジエン系シール材

単第0 -0011 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	2.0	人			
ハンドカッター損料 モータ式	1.0	台			
発電機損料	1.0	日			
電動ブレーカー損料	1.0	台			
ダンプトラック損料	1.0	台			
諸雑費	10	%			#01
高機能止水材 メジエイドMA30相当	10.0	m			
シール材 ポリブタジエン系 スカイシールF-2相当	11.2	kg			
諸雑費	5	%			#02
*** 合計 ***	10	m			

施工単価表

塗装塗替え工
さび安定化防錆工法相当

V1003

単第0 -0016 表

1

式 当り

主桁119m2

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
水性さび安定化処理剤 NK-100E相当	30	kg			
有機無機複合型コーティング剤 シールコート007M相当	35	kg			
橋りょう世話役	9	人			
橋りょう塗装工	27	人			
普通作業員	9	人			
機械器具損料 塗装塗替え工	1	式			
諸雑費	5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

付属構造物塗替

SPK22040309

単第0 -0018 表

長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.34%

材料構成比: 5.66%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,041.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.50%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 中塗用,白	5.66%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 中塗用		TTPCD0173 TTPT00069
積算単価			積算単価		EP001
A=9 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

付属構造物塗替

SPK22040309

単第0 -0019 表

長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.36%

材料構成比: 5.64%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,041.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.51%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 上塗用,白	5.64%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 上塗用		TTPCD0185 TTPT00070
積算単価			積算単価		EP001
A=23 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 19.63% 労務構成比: 71.11%

SPK22040142

DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)

材料構成比: 9.26%

単第0 -0020 表

1

m3 当り

標準単価:

4,825.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.63%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.11%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.26%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=31 運搬距離7.0km以下(5.5km超)		

施工単価表

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0024 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 31.59%

材料構成比: 68.41%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

23,623.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.41%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 48 三原市(大和) 00-04.08.01(0) 1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費【横郷橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費【横郷橋】					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	1	式			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020039 00 単第0 -0001 表
支承表面保護工	1	式			Y3999 レベル3
ゴム支承表面保護工 ゴム支承用対候性表面保護材	8	基			Y4999 レベル4
ゴム支承補修工	8	基			V1001 00 単第0 -0002 表

本工事費【横郷橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 Co殻（無筋）	0.06	m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)	0.06	m3			SPK22040142 00 単第0 -0003 表
殻処分 Co殻（無筋）	0.06	m3			Y1G03271602 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
再生資源化施設受入費 Co殻（無筋）	0.1	t			F9001 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3

本工事費【横郷橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	4	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	4	人			
足場工					Y3999 レベル3
	1	式			
足場工					Y4999 レベル4
	1	式			
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満					S3030011 00
	21	m2			単第0 -0004 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔					S3030013 00
	14	m 2			単第0 -0005 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 片側朝顔					S3030013 00
	7	m 2			単第0 -0006 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	14	m 2			単第0 -0007 表
防護工(床版補強工) シート張防護工 片側朝顔					S3030015 00
	7	m 2			単第0 -0008 表

本工事費【横郷橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費【横郷橋】 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

ゴム支承補修工

V1001

単第0 -0002 表

頁0 -0008

2

基 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.00	人			
特殊作業員	1.00	人			
普通作業員	1.00	人			
ゴム支承表面保護材 HBコート (Softタイプ) 相当 使用量1本/m2	1	本			
ゴム支承表面保護材 HBコート (Hardタイプ) 相当 使用量1本/m2	1	本			
諸経費	35	%			#01
*** 合計 ***	2	基			
*** 単位当たり ***	1	基			

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 19.63% 労務構成比: 71.11%

SPK22040142

DID区間無し 運搬距離7.0km以下(5.5km超)

材料構成比: 9.26%

単第0 -0003 表

1
標準単価:

m3 当り
4,825.00000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.63%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.11%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.26%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=31 運搬距離7.0km以下(5.5km超)		

市道宮ノ下線宮ノ下橋

数量計算書

6.1 数量総括表

工種	種別	細別	規格	単位	合計	計上数量	備考
塗装塗替工	塗装塗替工	はくり剤工	水系はくり剤	m ²	119.1	1橋	塗膜除去工、塗膜剥離剤、 廃材の回収・積込(127kg)
		素地調整	素地調整2種	m ²	119.1	1橋	清掃・水洗い、2種ケレン、 ケレンかす回収・積込
		塗装塗替え工	さび安定化防錆工法	m ²	119.1	1橋	
主桁遊間異常	遊間異常対策工	ガス切断工	ガス切断	m	3.1	3	
断面修復工	断面修復工	断面修復工	ポリマーセメント系モルタル	m ³	0.25	1構造物	Co殻：0.244×2.35=0.6t
表面含浸工	表面含浸工	床版表面含浸工	けい酸塩系表面含浸材	m ²	75.8	1橋	下地処理（簡易清掃・下地処理）
		橋脚表面含浸工	シラン系表面含浸材	m ²	32.1	1橋	下地処理（簡易清掃・下地処理）
水切り対策工	水切り対策工	水切設置工	後付け水切材	m	54.2	54	
ひびわれ対策工	ひびわれ注入工	ひび割れ注入工 0.2~1.0mm未満	超微粒子セメント系ひびわれ注入材+ 浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液	m	39.2	1構造物	
			亜硝酸リチウム注入材量	kg	2.26		
			超微粒子セメント	kg	2.08		
支承更新工	補剛材取付工	補剛材取付	PL-9x90x566	kg	69.5	0.07 t	
		現場溶接	隅肉溶接 6mm	m	29.4	29	
	支承更新工	固定用	ゴム支承	基	5	9	200KN相当
		可動用	ゴム支承	基	4		200KN相当
ガードレール 塗装塗替工	塗装塗替工	素地調整	素地調整	m ²	80.3	80	
		塗装塗替え工	道路付属物	m ²	80.3	80	中塗、上塗
伸縮目地	伸縮目地対策工	目地部充填材	止水材（マジエイトMA30相当） ポリブタジエン系シール材	m	11.7	11.7	
		止水対策工	高弾性止水材	m	11.7		
仮設工	足場工	吊足場	TYPE A1	m ²	57.6	58	朝顔、シート防護
		橋脚回り足場	TYPE F	m ²	10.2	10	朝顔、シート防護
	支保工	支保工	A2橋台側	空m ³	1.8	-	※支承更新工にて計上
		支柱受台	H型鋼 300型相当	m	10.2	-	※支承更新工にて計上 A1橋台側 H-150x150 7.2m A2橋台側 H-200x200 3.0m
		基礎コンクリート		m ³	0.50	0.5	Co殻：0.5×2.35=1.2 t
安全管理費	交通誘導員	交通誘導員B		人	62	62	2人/日

6.2 塗装塗替工

(1) 主桁

上フランジ

$$A = (0.017 \times 2 + 0.200 - 0.011) \times 13.388 = 2.986 \text{ m}^2$$

下フランジ

$$A = [(0.017 + 0.200) \times 2 - 0.011] \times 13.388 = 5.663 \text{ m}^2$$

ウェブ

$$A = 0.566 \times 13.388 \times 2 = 15.155 \text{ m}^2$$

リブ

$$A = [(0.090 \times 2 + 0.009) \times 0.566] \times 6 = 0.642 \text{ m}^2$$

主桁1本当り

$$= 24.446 \text{ m}^2$$

1橋当り (主桁 4本)

$$\Sigma A = 97.78 \text{ m}^2$$

(2) 撥桁

上フランジ

$$A = (0.016 \times 2 + 0.200 - 0.010) \times 3.680 = 0.817 \text{ m}^2$$

下フランジ

$$A = [(0.016 + 0.200) \times 2 - 0.010] \times 3.680 = 1.553 \text{ m}^2$$

ウェブ

$$A = 0.468 \times 3.680 \times 2 = 3.444 \text{ m}^2$$

リブ

$$A = [(0.090 \times 2 + 0.009) \times 0.468] \times 4 = 0.354 \text{ m}^2$$

1橋当り

$$\Sigma A = 6.17 \text{ m}^2$$

(3) 横桁

中間横桁

$$A = [(0.250 + 0.090) \times 2 + (0.090 - 0.009) \times 2] \times 1.671 = 1.407 \text{ m}^2$$

端支点横桁

$$A = [(0.250 + 0.090) \times 2 + (0.090 - 0.009) \times 2] \times 1.671 + (0.220 \times 0.210) \times 2 \times 76.2\% \times 2 = 1.548 \text{ m}^2$$

撥桁横桁

$$A = [(0.200 + 0.100) \times 2 + (0.100 - 0.006) \times 2] \times 1.527 = 1.203 \text{ m}^2$$

1橋当り (中間横桁 4箇所, 端支点横桁 4箇所)

$$\Sigma A = 13.02 \text{ m}^2$$

(4) 排水

排水管

$$A = \pi \times 0.114 \times 0.725 = 0.260 \text{ m}^2$$

1橋当り (排水管 8本)

$$\Sigma A = 2.08 \text{ m}^2$$

(5) ガードレール

笠木

$$A = 0.500 \times 54.270 = 27.135 \text{ m}^2$$

ビーム

$$A = 0.850 \times 54.270 = 46.130 \text{ m}^2$$

支柱

$$A = 0.251 \times 28 = 7.028 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 80.29 \text{ m}^2$$

(6) 主構工合計

径間数

1橋当り

$$\text{主桁} \quad 97.78 \text{ m}^2$$

$$A = 97.8 \text{ m}^2$$

$$\text{撥桁} \quad 1.20 \text{ m}^2$$

$$A = 6.2 \text{ m}^2$$

$$\text{横桁} \quad 13.02 \text{ m}^2$$

$$A = 13.0 \text{ m}^2$$

$$\text{排水} \quad 2.08 \text{ m}^2$$

$$A = 2.1 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A1 = 119.1 \text{ m}^2$$

(7) 塗装塗替工(主構工)

1) はくり剤工

$$A = 119.1 \quad 119.1 \text{ m}^2$$

$$V = 119.1 \times 1.07 \text{ kg} \quad 127 \text{ kg}$$

2) 素地調整2種

$$A = 119.1 \quad 119.1 \text{ m}^2$$

3) 塗装塗替え工 (さび安定化防錆工法)

$$A = 119.1 \quad 119.1 \text{ m}^2$$

(8) 塗装塗替工(ガードレール)

2) 素地調整

$$A = 80.3 \quad 80.3 \text{ m}^2$$

3) 塗装塗替え工

$$A = 80.3 \quad 80.3 \text{ m}^2$$

6.3 遊間異常対策工

1. 遊間異常対策工 (図面参照)

(1) ガス切断工

$$L = (0.583 + 0.200) \times 4 = 3.132 \text{ m}$$

6.4 断面修復工

(1) はつり殻

$$V = 0.209 + 0.011 + 0.024 = 0.244 \text{ m}^3$$

$$W = 0.244 \times 2.35 = 0.573 \text{ t}$$

(2) 断面修復工

$$V = 0.209 + 0.011 + 0.006 + 0.024 = 0.250 \text{ m}^3$$

6.4 1. 断面修復工計算書

工種	剥離・鉄筋露出, うき (床版下面)		剥離・鉄筋露出, うき (下部工)		ジャンカ(豆板) (下部工)		剥離・鉄筋露出, うき (地覆)			
	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積	幅 × 長さ =	面積
断面修復工	1) 0.20 × 1.36 =	0.272	22) 0.05 × 0.10 =	0.005	28) 0.30 × 0.30 =	0.090	(1) 0.15 × 1.30 =	0.195	25) 0.40 × 0.05 =	0.020
	2) 0.10 × 0.15 =	0.015	23) 0.10 × 0.10 =	0.010	⑩ 0.20 × 0.40 =	0.080			26) 0.20 × 0.30 =	0.060
	3) 0.05 × 0.10 =	0.005	24) 0.30 × 1.40 =	0.420					27) 0.30 × 0.10 =	0.030
	0.05 × 0.10 =	0.005	① 0.20 × 0.30 =	0.060					⑦ 0.50 × 0.30 =	0.150
	0.05 × 0.10 =	0.005	② 0.20 × 1.10 =	0.220					⑧ 0.20 × 0.30 =	0.060
	4) 0.40 × 0.40 =	0.160	③ 0.20 × 0.20 =	0.040					⑨ 0.15 × 0.30 =	0.045
	5) 0.25 × 0.30 =	0.075	④ 0.20 × 0.35 =	0.070						
	6) 0.15 × 0.20 =	0.030	⑤ 0.20 × 1.70 =	0.340						
	7) 0.40 × 0.30 =	0.120	⑥ 0.50 × 0.30 =	0.150						
	8) 0.60 × 0.40 =	0.240								
	9) 0.05 × 0.10 =	0.005								
	0.05 × 0.10 =	0.005								
	10) 0.60 × 0.35 =	0.210								
	11) 0.50 × 0.20 =	0.100								
	12) 0.50 × 0.20 =	0.100								
	13) 0.05 × 0.10 =	0.005								
	0.05 × 0.10 =	0.005								
	0.05 × 0.10 =	0.005								
	0.05 × 0.10 =	0.005								
	14) 0.20 × 0.30 =	0.060								
	15) 0.10 × 0.20 =	0.020								
	16) 0.20 × 0.50 =	0.100								
	17) 0.40 × 0.50 =	0.200								
	18) 0.05 × 0.10 =	0.005								
	0.05 × 0.10 =	0.005								
	19) 0.05 × 0.10 =	0.005								
	0.05 × 0.10 =	0.005								
	0.05 × 0.10 =	0.005								
	0.05 × 0.10 =	0.005								
	20) 0.30 × 0.30 =	0.090								
21) 0.05 × 0.10 =	0.005									
0.05 × 0.10 =	0.005									
0.05 × 0.10 =	0.005									
0.05 × 0.10 =	0.005									
0.05 × 0.10 =	0.005									
0.05 × 0.10 =	0.005									
0.05 × 0.10 =	0.005									
合計(m2)	面積	3.217			0.170		0.195		0.365	
合計(m3)	はつり工	0.209			0.011		-		0.024	
合計(m3)	断面修復工	0.209			0.011		0.006		0.024	

注記) 剥離・鉄筋露出, うき部はつり厚、断面修復厚は、0.065 mとする。 ジャンカ(豆板)部の断面修復厚は、0.030 mとする。

6.5 床版表面被覆工（けい酸塩系表面含浸材）

(1) 表面含浸工

$$\begin{aligned} A1 &= (0.601 + 1.532) \times 13.388 \times 2 &= 57.113 \text{ m}^2 \\ A2 &= 0.601 \times (13.388 + 10.288) &= 14.229 \text{ m}^2 \\ A3 &= 1.943 + 2.562 &= 4.505 \text{ m}^2 \\ \Sigma A &= &= 75.847 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

6.6 水切対策工

(1) 下地処理

$$A = (13.388 \times 3 + 14.070) \times 0.025 = 1.356 \text{ m}^2$$

(2) 水切設置工

$$L = 13.388 \times 3 + 14.070 = 54.234 \text{ m}$$

6.7 ひびわれ注入工

(超微粒子セメント系ひびわれ注入材+浸透拡散亜硝酸リチウム(40%)水溶液)

(1) ひびわれ注入工 (0.2~1.0mm未満)

ひびわれ延長

$$L = 39.20 = 39.20 \text{ m}$$

ひびわれ注入材深さ

$$L = 0.41 \times 200 \div 1000 = 0.082 \text{ m}$$

深さ200倍根拠:(2002年)コンクリート標準示方書 [性能照査編] (深さの上限350mm)

許容ひび割れ幅は かぶり c x 0.005
 かぶり50mm, $50 \times 0.005 = 0.25\text{mm}$ (ひび割れ幅)
 50 (ひび割れ深さ) = 0.25 (ひび割れ幅) x 200
 \therefore 深さ200倍とする。

亜硝酸リチウム注入材量

$$W = 0.00041 \times 0.082 \times 39.20 \times 1250 \times 1.37 = 2.26 \text{ kg}$$

幅(m) 深さ(m) 延長(m) 密度 (kg/m³) ロス率

ひびわれ注入材量 (超微粒子セメント)

$$W = 0.00041 \times 0.082 \times 39.20 \times 1150 \times 1.37 = 2.08 \text{ kg}$$

幅(m) 深さ(m) 延長(m) 密度 (kg/m³) ロス率

1回充填量

$$W = 39.20 \times (1000 \div 250) \times (50 / 1000) \times 1.37 = 10.74 \text{ kg}$$

延長(m) 配置数 注入器具の容量(kg) ロス率

亜硝酸リチウム注入材量

$$2.26 \text{ kg} \leq 10.74 \text{ kg} \quad \text{したがって1回注入} \quad 10.74 \text{ kg} \times 1 = 10.74 \text{ kg}$$

注入材量 1回充填量

ひびわれ注入材量

$$2.08 \text{ kg} \leq 10.74 \text{ kg} \quad \text{したがって1回注入} \quad 10.74 \text{ kg} \times 1 = 10.74 \text{ kg}$$

注入材量 1回充填量

シール材

$$W = 0.050 \times 0.003 \times 39.20 \times 1420 = 8.35 \text{ L}$$

シール幅(m) シール厚(m) 延長(m) 密度 (kg/m³)

(比重1.45) = 12.11 kg

注入器

$$N = 39.20 \times (1000 / 250) = 157 \text{ 本}$$

延長(m) 配置数

5回転用 32 本

6.7 1. ひびわれ補修工計算書

工種	0.2~1.0mm未満					
	幅	長さ				
ひび割れ補修工	1)	0.20	0.80			
	2)	0.60	1.00			
	3)	0.20	1.00			
	4)	0.20	0.60			
	5)	0.80	1.40			
	6)	0.30	1.20			
	7)	0.20	1.20			
	8)	0.70	1.00			
	9)	0.30	1.30			
	10)	0.40	1.00			
	11)	0.90	0.50			
	12)	0.60	1.60			
	13)	0.20	1.10			
	14)	0.40	0.50			
	15)	0.20	0.60			
	16)	0.50	1.00			
	17)	0.20	1.70			
	18)	0.20	1.90			
	19)	0.20	0.50			
	20)	0.50	1.10			
	21)	0.60	0.30			
	22)	0.30	0.60			
	23)	0.20	1.80			
	24)	0.90	2.30			
	25)	0.30	1.50			
	26)	0.30	1.70			
	27)	0.20	2.60			
	28)	0.20	1.00			
	29)	0.80	1.00			
	30)	0.70	1.00			
	31)	0.60	2.60			
	32)	0.20	1.80			
合計	平均 0.41	39.20				

6.8 橋脚表面被覆工(シラン系表面含浸材)

(1) 表面含浸工

$$\begin{aligned}
 A1 &= (0.450 + 0.042 + 3.974) \times 1.700 \times 2 &= 15.184 \text{ m}^2 \\
 A2 &= \phi 1.100 \times \pi \times 0.450 &= 1.555 \text{ m}^2 \\
 A3 &= (\phi 1.100 \times \pi + \phi 1.040 \times \pi) \times 1/2 \times 0.042 &= 0.141 \text{ m}^2 \\
 A4 &= (\phi 1.040 \times \pi + \phi 1.406 \times \pi) \times 1/2 \times 3.974 &= 15.269 \text{ m}^2 \\
 \Sigma A &= &= 32.149 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

6.9 支承更新工

1. 補剛材取付工 (図面参照)

(1) 補剛材取付

$$\begin{aligned}
 W1 &= 0.009 \times 0.090 \times 0.566 \times 16 \times 7850 &= 57.58 \text{ kg} \\
 W2 &= 0.009 \times 0.090 \times 0.468 \times 4 \times 7850 &= 11.90 \text{ kg} \\
 \Sigma W &= &= 69.480 \text{ kg}
 \end{aligned}$$

(2) 現場溶接

$$\begin{aligned}
 L1 &= \{ (0.090 \times 2 + 0.566) \times 2 + 0.009 \times 2 \} \times 16 &= 24.16 \text{ m} \\
 L2 &= \{ (0.090 \times 2 + 0.468) \times 2 + 0.009 \times 2 \} \times 4 &= 5.26 \text{ m} \\
 \Sigma L &= &= 29.42 \text{ m}
 \end{aligned}$$

2. 支承更新工

(1) 支承更新工

固定用: ゴム支承

$$n = 5 \text{ 基}$$

可動用: ゴム支承

$$n = 4 \text{ 基}$$

6.10 伸縮目地対策工

(1) 伸縮目地止水対策工

$$L = 3.10 + 3.30 + 5.27 = 11.670 \text{ m}$$

シーラ材 10m当り重量

$$W_{(20)} = 0.020 \times 0.040 \times 10.0 \times 1100 \times 1.1 = 9.680 \text{ kg}$$

目地幅 目地幅x2 延長 (kg/m3) ロス率
単位質量

$$W_{(25)} = 0.025 \times 0.050 \times 10.0 \times 1100 \times 1.1 = 15.125 \text{ kg}$$

目地幅 目地幅x2 延長 (kg/m3) ロス率
単位質量

$$HW = \{ 9.680 \times (3.10 + 5.27) + 15.125 \times 3.30 \} / 11.670 = 11.220 \text{ kg/10m}$$

(平均値)

(2) 高弾性止水材

$$L = 11.670 = 11.670 \text{ m}$$

6.11 仮設工

1. 足場工 (図面参照)

(1) 吊り足場 type A1

$$A = 28.10 + 29.50 = 57.60 \text{ m}^2$$

(2) 橋脚回り足場 type F

$$A = 10.20 = 10.20 \text{ m}^2$$

6.12 支保工

(1) 支保工 反力受け用
 $V = 1.8 = 1.8 \text{ 空m}^3$

(2) 支柱受台 H型鋼 300型相当
A1橋台 (H-150x150)
 $L = 7.2 = 7.2 \text{ m}$

A2橋台 (H-200x200)
 $L = 3.0 = 3.0 \text{ m}$

$\Sigma L = = 10.2 \text{ m}$

(3) 基礎コンクリート □500x1000 t=200mm n= 5 箇所
 $V = 0.500 \times 1.000 \times 0.200 \times 5 = 0.50 \text{ m}^3$

(4) 支保工質量

A2橋台

$$T1 = 0.372 \times (3.62 + 1.5) + \{ 4.737 \times 3 + 0.372 \times (3.62 + 1.5) \} \\ \times 1.1 / 10 = 3.68 \text{ t}$$

$$Dt = 3.68 / (0.13 \times 3.68 + 1.6) = 2 \text{ 日}$$

6.13 安全管理費

1. 交通誘導員B

(1) 31日 x 2人 = 62人

足場日数算出

	規 格	数 量	単 位	日当り施工量	日数	摘 要
塗装塗替工(主鋼部)			式		13.9	
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去(橋梁)	水系はくり剤(ネリハ°-泥ハ° ックType II 1.0kg/m ²)	119.1	m ²	50	2.4	
廃材の回収・積込含		119.1	m ²	50	2.4	
素地調整 2種		119.1	m ²	58	2.1	
塗装塗替え	さび安定化防錆工法	119.1	m ²	-	7.0	メーカー聞取り
塗装塗替工(ガードレール)			式		1.6	
素地調整		80.3	m ²	100	0.9	
塗装塗替え		80.3	m ²	121	0.7	
断面修復工	(鉄筋ケレン, 防錆処理含む)	0.25	m ³	0.069	3.7	
表面被覆工(表面含侵工)			式		2.5	
簡易清掃		107.9	m ²	475	0.3	
下地処理		107.9	m ²	85	1.3	
シラン系含侵材(アル骨進行抑制)		32.1	m ²	145	0.3	
けい酸塩系表面含侵材<固化型>		75.8	m ²	145	0.6	
遊間異常対策工			式		0.2	
遊間異常対策工	極小規模補修工事ガス切断	3.1	m	18.7	0.2	
ひびわれ注入工			式		1.6	
ひびわれ注入工(1.0mm以下)	亜硝酸リチウム混入	39.2	m	25.6	1.6	
支承更新工			式		20.1	
既設支承撤去工		9	基	1	9.0	
支承更新工		9	基	1	9.0	
現場溶接鋼桁補強	鈹桁、箱桁外面	29.4	m	14	2.1	
支柱支保工 設置・撤去	支保耐力 29.4未満(kN/m ²)	1.8	空m ³	-	3.0	組立：解体=2日：1日 (Dt=2*1.25=3日)
支柱支保工基礎 設置・撤去		0.50	m ³	-	2.0	設置：解体=1日：1日
伸縮目地止水対策工		11.7	m	10	1.2	
水切り設置工		54.2	m	90	0.7	
足場工			式		2.1	
足場工		67.8	m ²	33	2.1	
小計(日)					52.6	53日
合計(日)					96	53日×1.8(3.2月)

足場日数算出

	規 格	数 量	単 位	日当り施工量	日数	摘 要
塗装塗替工(主鋼部)			式			
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去(橋梁)	水系はくり剤(ネリハ°-泥ハ° ックType II 1.0kg/m2)	119.1	m2			
廃材の回収・積込含		119.1	m2			
素地調整 2種		119.1	m2			
塗装塗替え	さび安定化防錆工法	119.1	m2			
塗装塗替工(ガードレール)			式		1.6	
素地調整		80.3	m2	100	0.9	
塗装塗替え		80.3	m2	121	0.7	
断面修復工	(鉄筋ケレン, 防錆処理含む)	0.25	m3			
表面被覆工(表面含侵工)			式			
簡易清掃		107.9	m2			
下地処理		107.9	m2			
シラン系含侵材(アル骨進行抑制)		32.1	m2			
けい酸塩系表面含侵材<固化型>		75.8	m2			
遊間異常対策工			式			
遊間異常対策工	極小規模補修工事ガス切断	3.1	m			
ひびわれ注入工			式			
ひびわれ注入工(1.0mm以下)	亜硝酸リチウム混入	39.2	m			
支承更新工			式		20.1	
既設支承撤去工		9	基	1	9.0	
支承更新工		9	基	1	9.0	
現場溶接鋼桁補強	鈹桁、箱桁外面	29.4	m	14	2.1	
支柱支保工 設置・撤去	支保耐力 29.4未満(kN/m2)	1.8	空m3	-	3.0	組立：解体=2日：1日 (Dt=2*1.25=3日)
支柱支保工基礎 設置・撤去		0.50	m3	-	2.0	設置：解体=1日：1日
伸縮目地止水対策工		11.7	m	10	1.2	
水切り設置工		54.2	m	90	0.7	
足場工			式		2.1	
足場工		67.8	m2	33	2.1	
小計(日)					30.7	31日
合計(人)					62	31日×2人

市道和木下福田線横郷橋

数量計算書

5. 横郷橋 補修数量

5.1 数量総括表

工種	名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	計上数量	摘 要
断面修復工	下地処理		m ²	0.9	1構造物	
	断面修復工	プライマー	m ²	1.827		
		ポリマーセメントモルタル	m ³	0.055		
	コンクリート殻		m ³	0.06	0.06	0.06×2.35=0.1t
表面保護工 (支承)	ゴム支承表面保護補修	200×200×45	基	8	8	HBコート相当品
仮設工	吊足場		m ²	20.75	21	
	朝顔 (両側)		m ²	13.60	14	
	朝顔 (片側)		m ²	7.15	7	
	シート張防護工 (両側)		m ²	13.60	14	
	シート張防護工 (片側)		m ²	7.15	7	

5.2 断面修復工

鉄筋構造物

1. 断面修復工（左官工法）

(1) 下地処理

$$A = 0.887$$

$$\Sigma A = 0.887 \text{ m}^2$$

(2) プライマー工

$$A = 1.827$$

$$\Sigma A = 1.827 \text{ m}^2$$

(3) 断面修復工

$$V = 0.055$$

$$\Sigma V = 0.055 \text{ m}^3$$

(4) コンクリート殻

$$V =$$

$$= 0.055 \text{ m}^3$$

$$W = 0.055 \times 2.35 \text{ (t/m}^3\text{)}$$

$$= 0.13 \text{ t}$$

5.3 支承取替工

1. 表面保護工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	ゴム支承表面保護補修	200×200×45		
①	HBコート		8	
	合計		8	基

5.5 仮設工数量

1. 仮設工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	吊足場 (両側)	仮設参考図参照		
①	A1~P1	3.400 × 2.000	6.80	
②	P1~A2	3.400 × 2.000	6.80	
	合計		13.60	m ²
	吊足場 (片側)	仮設参考図参照		
③	P1~A2	1.100 × 6.500	7.15	
	合計		7.15	m ²
	合計		20.75	m ²

足場日数

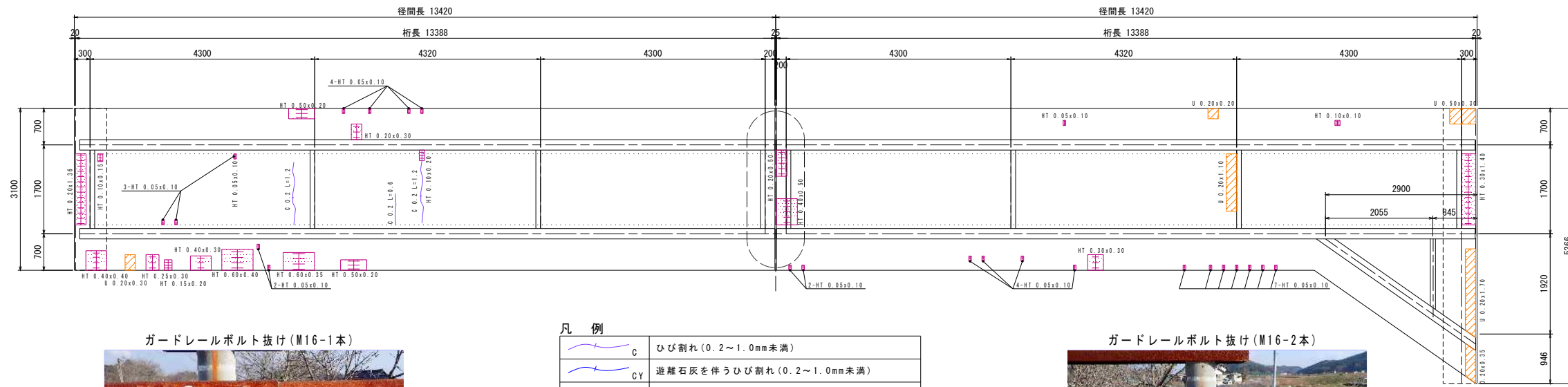
補修・補強項目			数量	日当り施工日数		日数算出	備考
コンクリート補修工	断面修復工	防錆有	0.055	0.069	m3	0.80	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-162
コンクリート補修工 total						0.80	
支承工	支承表面保護工		8	5	基	1.60	
支承取替工 total						1.60	
仮設工	足場工	吊足場	20.75	38	m2	0.55	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
		朝顔 (両側)	13.60	227	m2	0.06	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
		朝顔 (片側)	7.15	455	m2	0.02	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
		シート張防護工 (両側)	13.60	1250	m2	0.02	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
		シート張防護工 (片側)	7.15	2500	m2	0.01	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
仮設工 total						0.66	
小計 (日)						3.06	4日
合計 (日)						8	4日×1.8 (0.3月)

交通誘導員日数

補修・補強項目			数量	日当り施工日数		日数算出	備考
コンクリート補修工	断面修復工	防錆有	0.055	0.069	m3	0.80	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-162
コンクリート補修工 total						0.80	
支承工	支承表面保護工			5	基	0.00	
支承取替工 total						0.00	
仮設工	足場工	吊足場	20.75	38	m2	0.55	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
		朝顔 (両側)	13.60	227	m2	0.06	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
		朝顔 (片側)	7.15	455	m2	0.02	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
		シート張防護工 (両側)	13.60	1250	m2	0.02	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
		シート張防護工 (片側)	7.15	2500	m2	0.01	令和4年度 土木工事標準積算基準書 I-250
仮設工 total						0.66	
小計 (日)						1.46	2日
合計 (人)						4	2日×2人=4人

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 損傷図(その1)

平面図 S=1:50
桁下面



ガードレールボルト抜け (M16-1本)



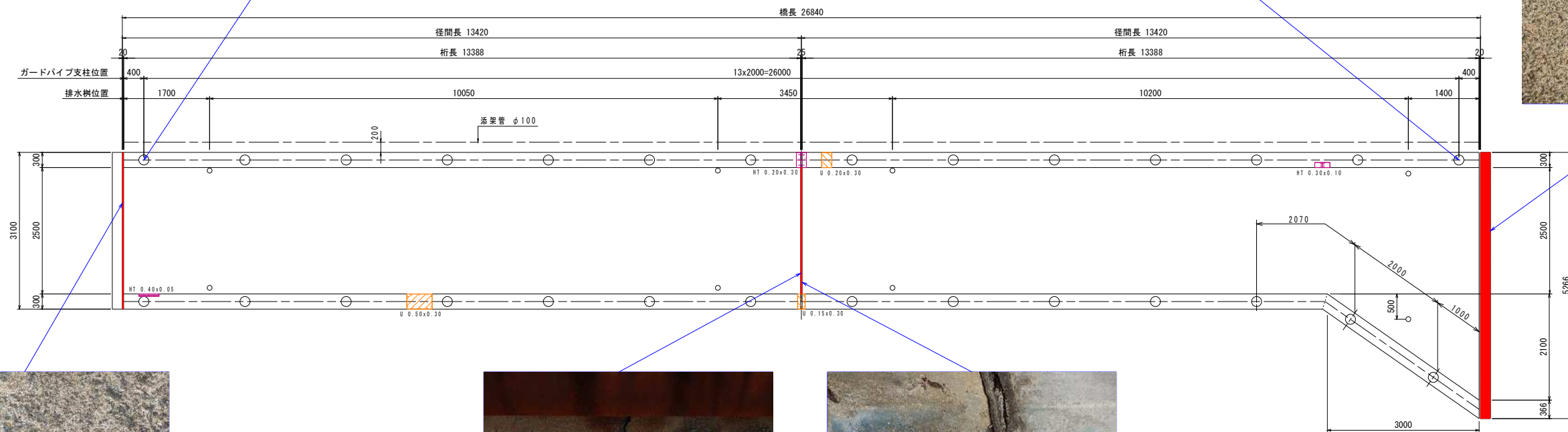
凡例

C	ひび割れ(0.2~1.0mm未満)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(0.2~1.0mm未満)
C	ひび割れ(1.0mm以上)
CY	遊離石灰を伴うひび割れ(1.0mm以上)
U	コンクリートの浮き
H	コンクリートの剥離
HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
R	漏水
M	ジャンカ

ガードレールボルト抜け (M16-2本)



パラペット天端部舗装突起



伸縮目地材の脱落



伸縮目地部の土砂堆積(路面)

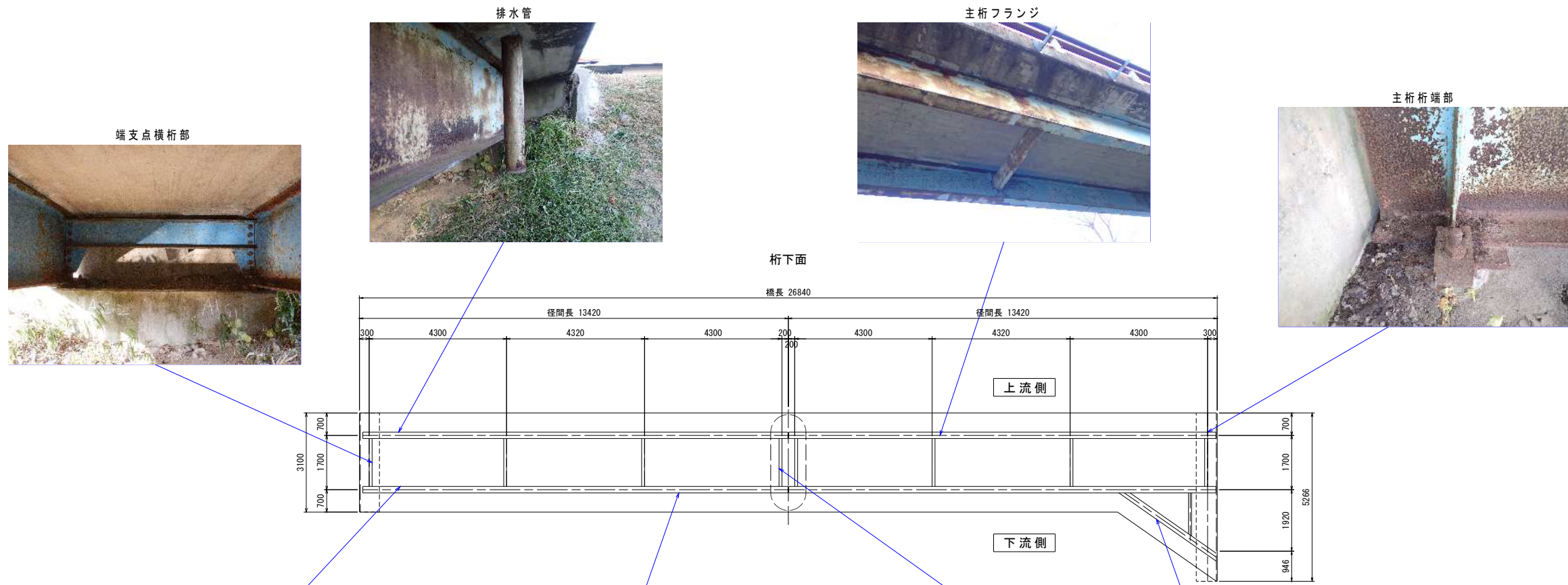


伸縮目地材の脱落(床版下面)

【参考図】

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 損傷図(その1)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	参考1
会社名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 損傷図(その2)



端支点横桁部



排水管



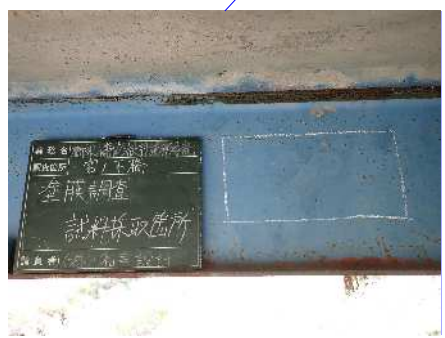
主桁フランジ



主桁桁端部



塗膜調査後



塗膜調査前



主桁ウェブ



中間支点横桁部



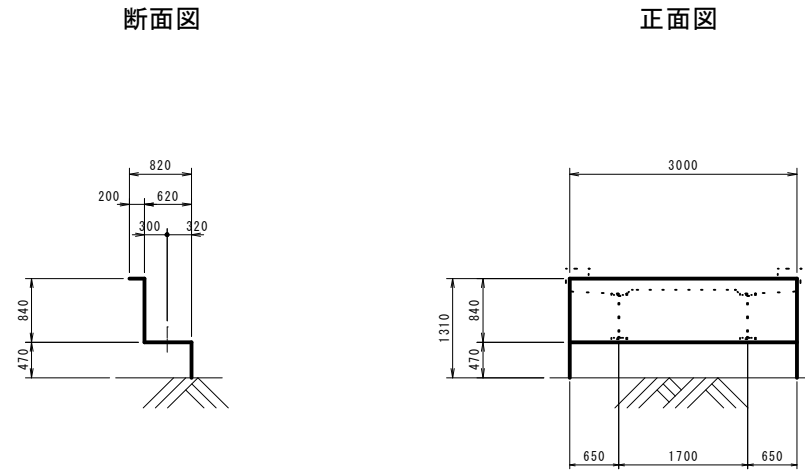
墩部主桁

【参考図】

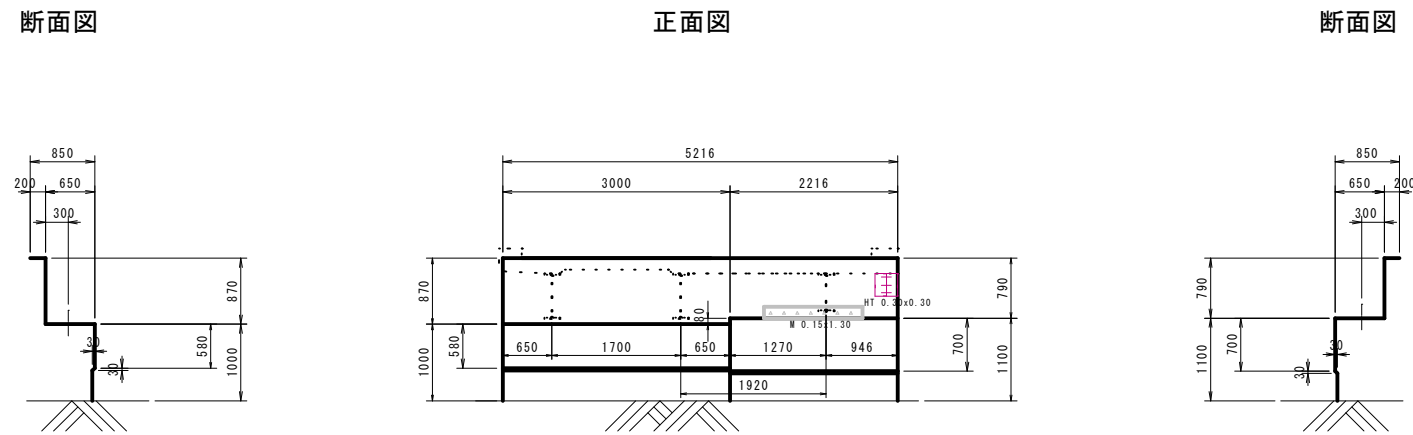
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 損傷図(その2)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	参考2
会社名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 損傷図 (その3)

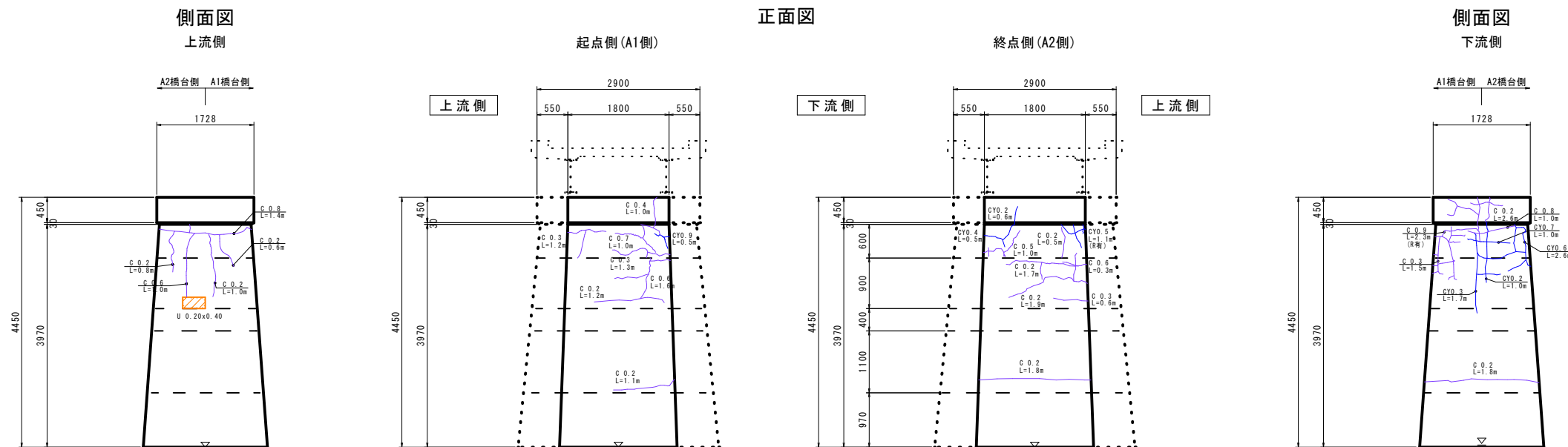
A1橋台 S=1/50



A2橋台 S=1/50



P1橋脚 S=1/50



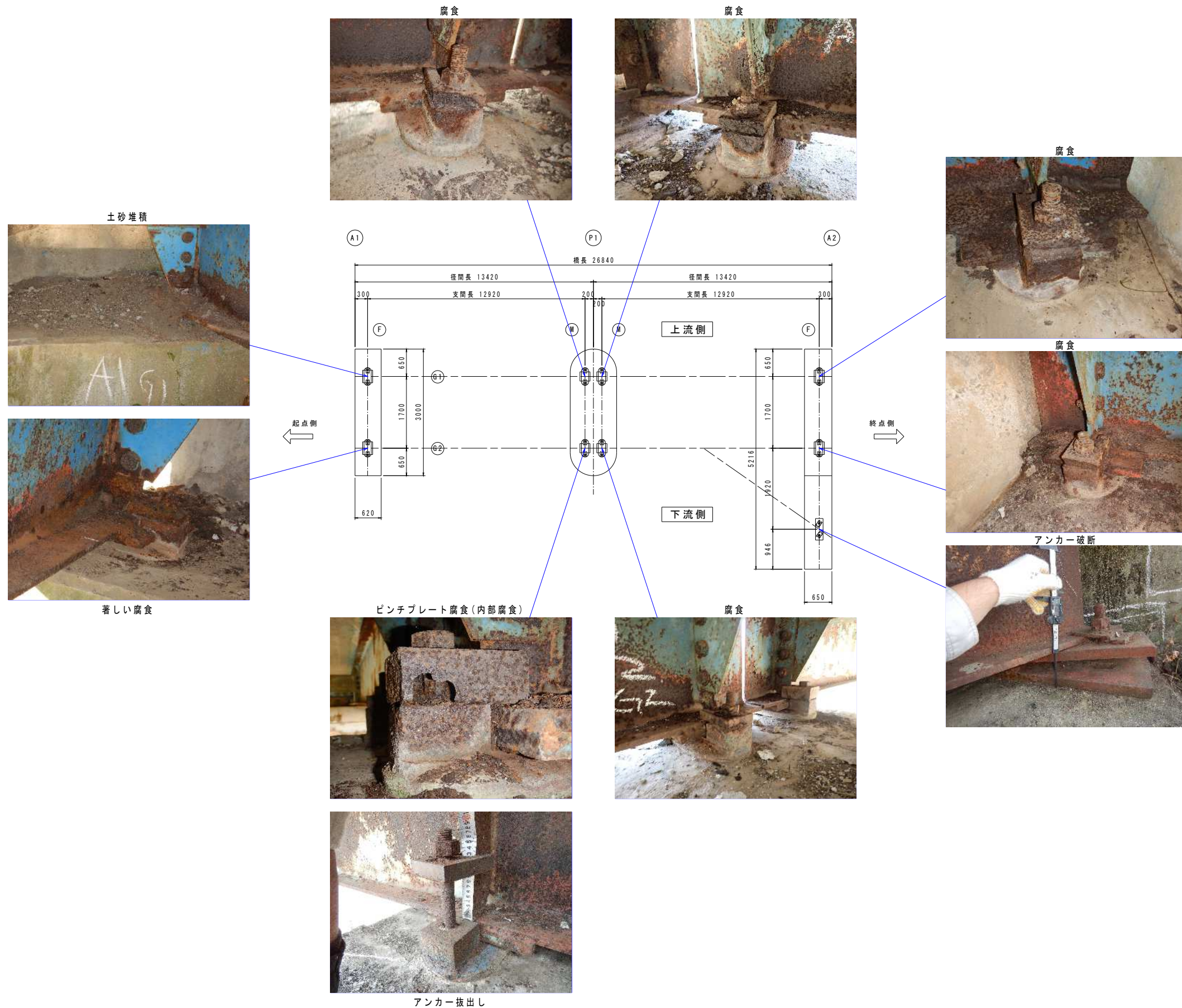
凡例

	C	ひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (0.2~1.0mm未満)
	C	ひび割れ (1.0mm以上)
	CY	遊離石灰を伴うひび割れ (1.0mm以上)
	U	コンクリートの浮き
	H	コンクリートの剥離
	HT	コンクリートの剥離・鉄筋露出
	Y	遊離石灰又はエフロレッセンス
	R	漏水
	M	ジャンカ

【参考図】

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 損傷図 (その3)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	参考3
会社名			
事業者名	三原市		

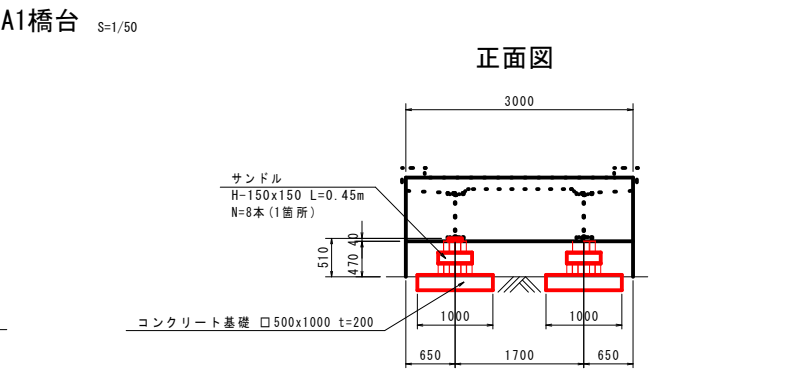
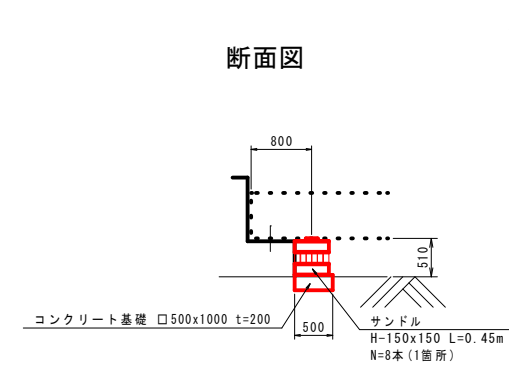
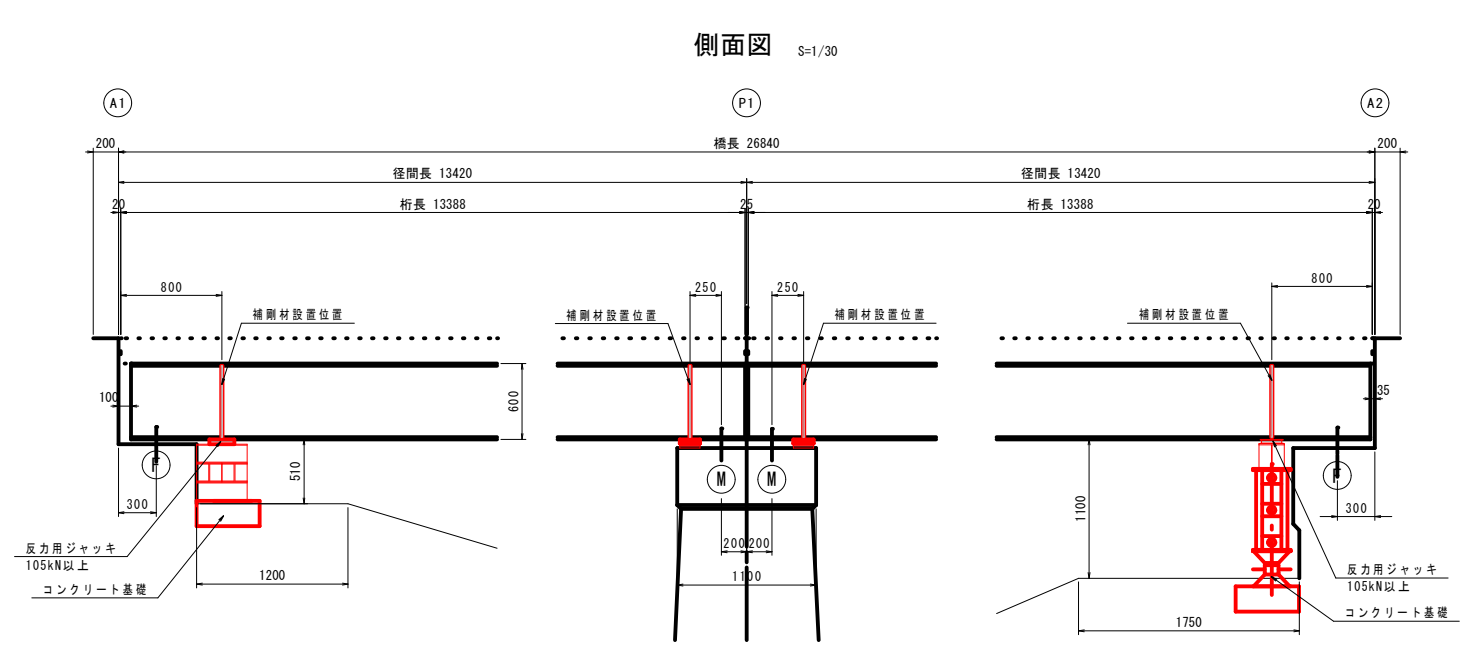
(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 損傷図(その4)



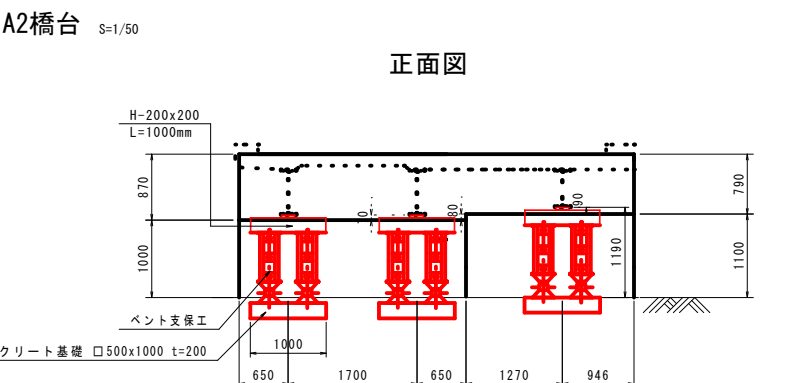
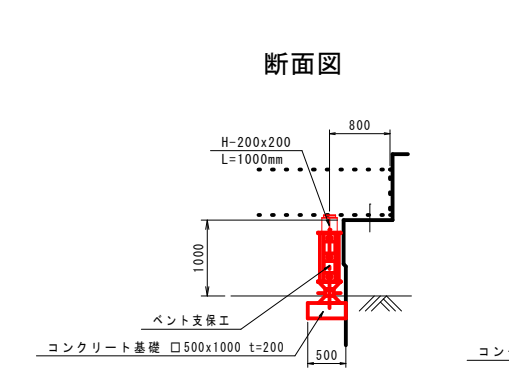
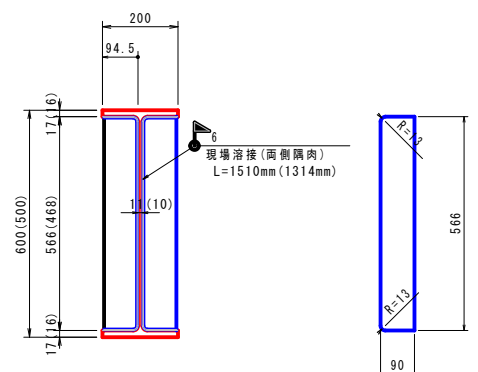
【参考図】

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 損傷図(その4)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	参考4
会社名			
事業者名	三原市		

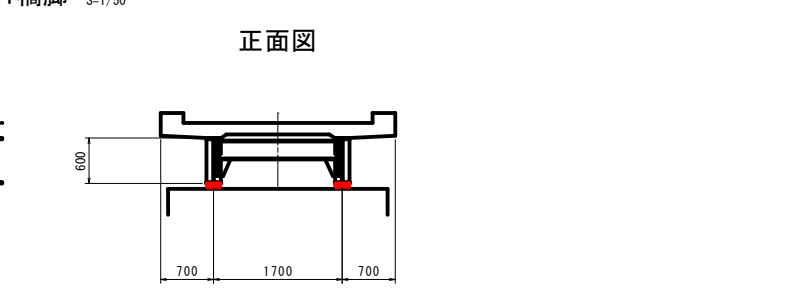
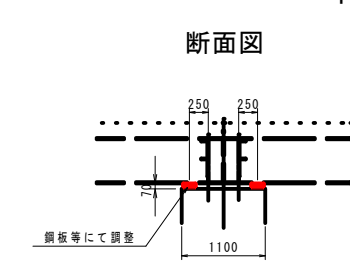
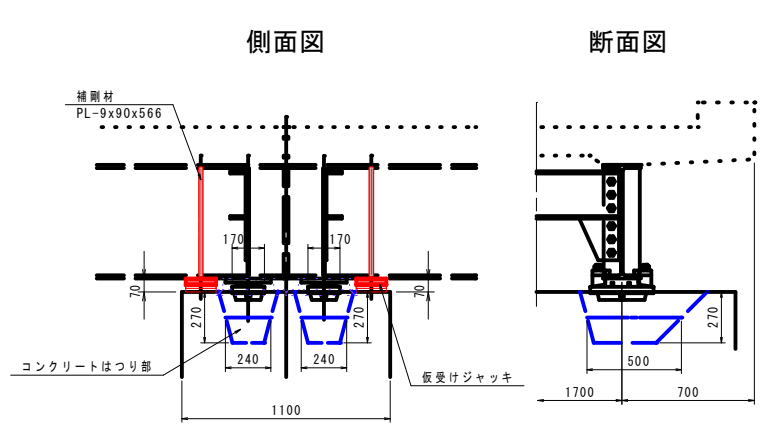
(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 支承交換要領図(参考図)



補剛材詳細図 S=1/20

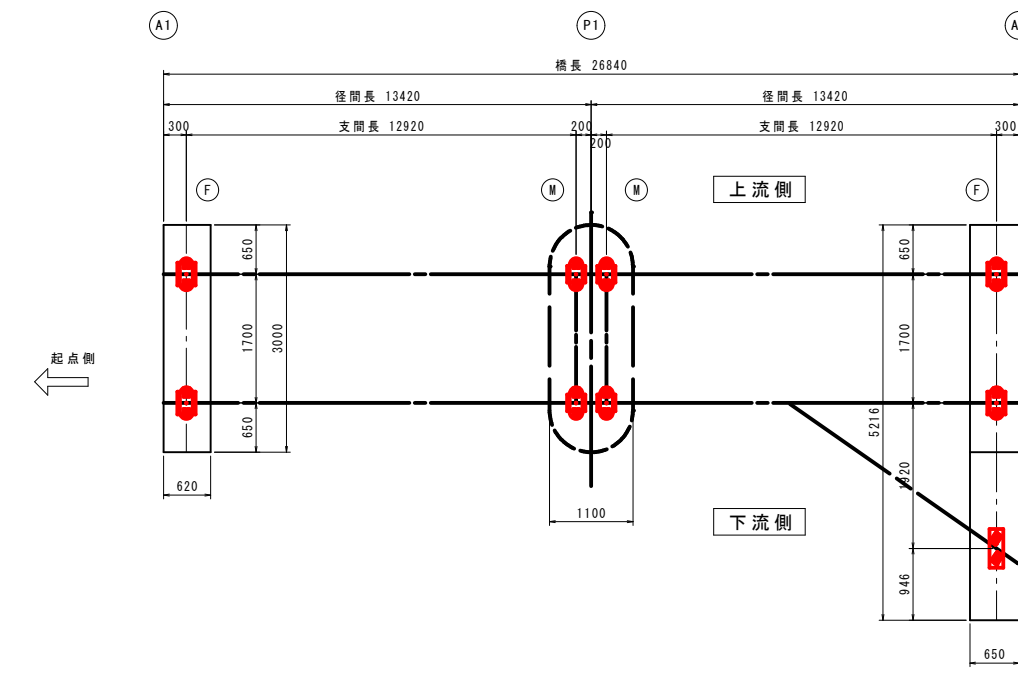


取換え要領図 S=1/20

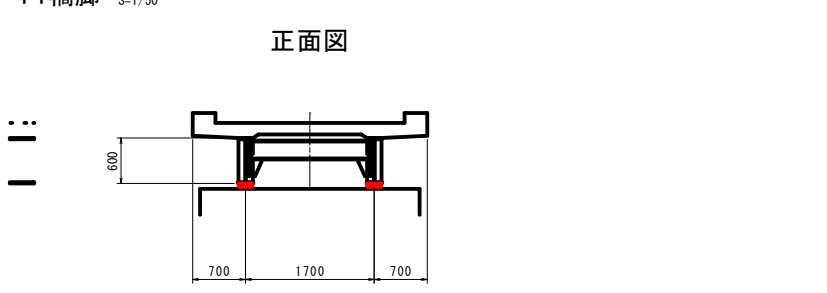


注、()内は換桁部を示す。
また、換桁支点上には補剛材が設定されていないため、支承更新時に設置すること。

支承位置図 S=1/50



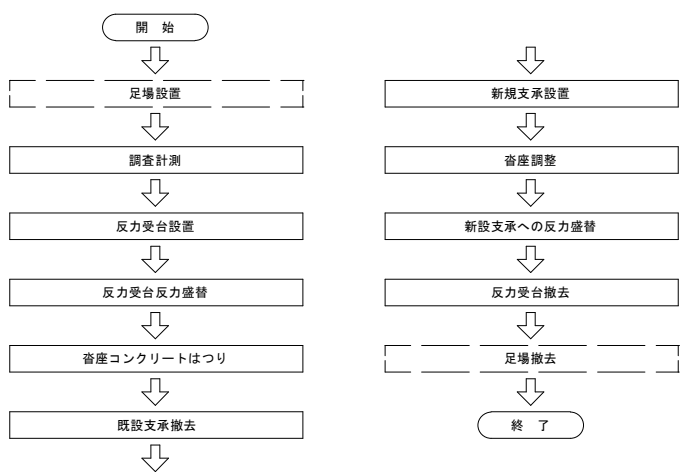
P1橋脚 S=1/50



位置	式	単位	数量	備考
支柱受台	H形鋼 (H150x150) 0.45x8x2箇所	n	7.2	
基礎コンクリート	0.20x1.00x0.50x2箇所	m3	0.2	

位置	式	単位	数量	備考
支保工	1.19x0.50x1.00x3箇所	空m3	1.8	
支柱受台	H形鋼 (H200x200) 1.00x3箇所	n	3.0	
基礎コンクリート	0.20x1.00x0.50x3箇所	m3	0.3	

施工フロー



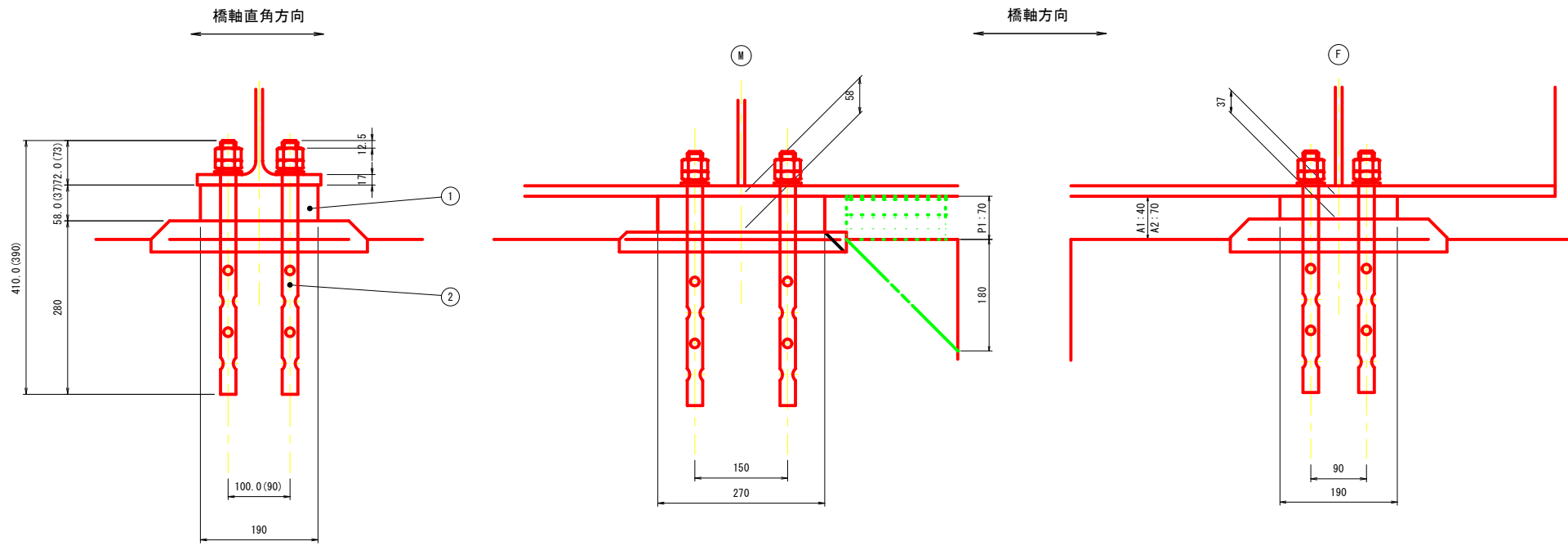
終点側

- 注記)
- 本図面は、調査結果をもとに作成した図面である。
 - 施工時には、天候に十分注意をすること。
 - 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
 - 死荷重時の施工とする。
 - はつり後、鉄筋発錆がある場合は、ワイヤーブラシ等で錆を落とし防錆材塗布する。又、必要に応じて鉄筋を交換する。その後、鉄筋背面まで隙間なくコンクリートの充填を行うこと。
 - コンクリートのはつり作業時において補修材及びはつり殻等の落下を防ぐよう防護すること。
 - 補修工事確認調査にて支承取換えにおいて懸念される事情が認められる場合は、発注者と協議し別途対策を講じること。
 - 現地にてベント基礎強度確認上、検討し基礎設備設置対策を講じること。

【参考図】

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 支承交換要領図(参考図)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	参考5
会社名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 支承詳細図(参考図) S=1:5



注) ()内は固定側を示す。

設計条件

支 承 条 件		Mov	Fix
最大反力	R _{max}	200 KN	200 KN
最大反力 回転照査用	R _{max2}	190 KN	190 KN
最大死荷重反力	R _D	110 KN	110 KN
最大活荷重反力	R _{L-1}	90 KN	90 KN
照査荷重時変位量 (RL+1/2)	δ _{cl}	0.43 mm	0.36 mm
回転変位量	δ _r	0.87 mm	0.60 mm
水 準 印 刷	常時 橋軸方向	ΔL1	13 mm
	常時 橋軸直角方向	ΔLe1	--- mm
	地震時 橋軸直角方向	ΔLe2	--- mm
性 能	せん断ばね定数	K _s	--- KN/mm
	圧縮ばね定数	K _v	--- KN/mm

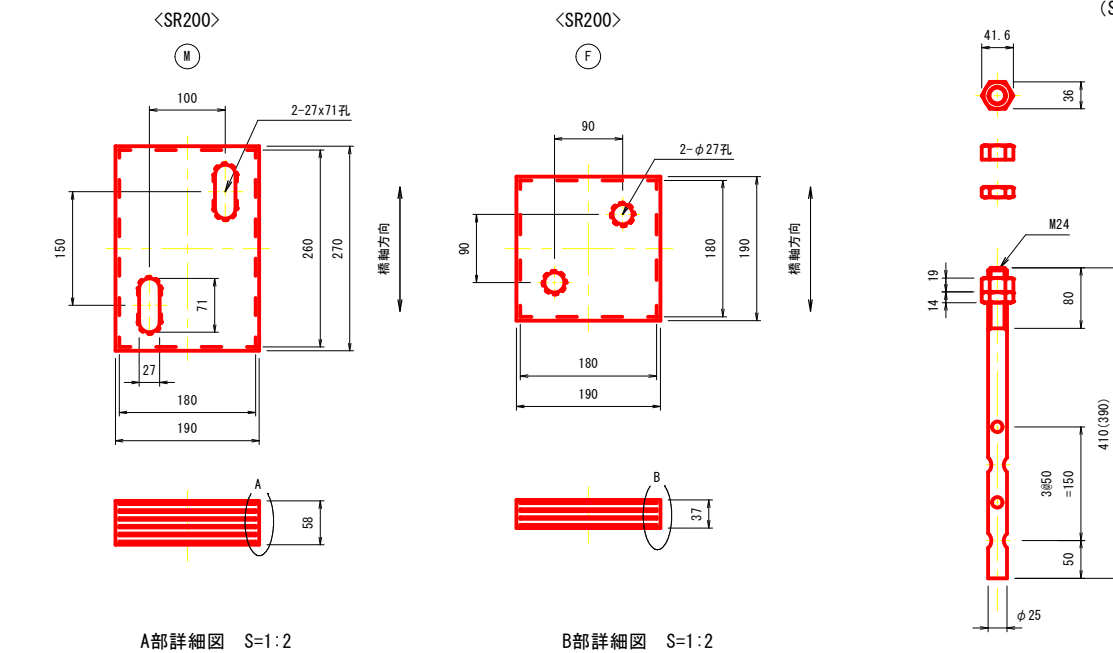
材 料 表

名 称	寸 法	材 質	単 位	数 量				備 考
				A1	P1	A2	合計	
1 SR審	190x270x58	図 示	枚		4		4	Ge=0.8N/mm ²
" "	190x190x37	"	"	2		3	5	
② アンカーボルト	φ25x410	S35CN	組		8		8	ナット・ワッシャー含む
" "	φ25x390	"	"	4		6	10	"

注) 1. ○印は、ST-SG仕様とする。
注) 2. 質量は参考質量とする。

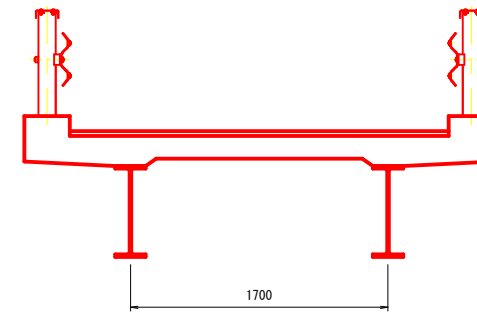
① ゴム支承 (CR+SS400)

② アンカーボルト・ナット・ワッシャー (S35CN)

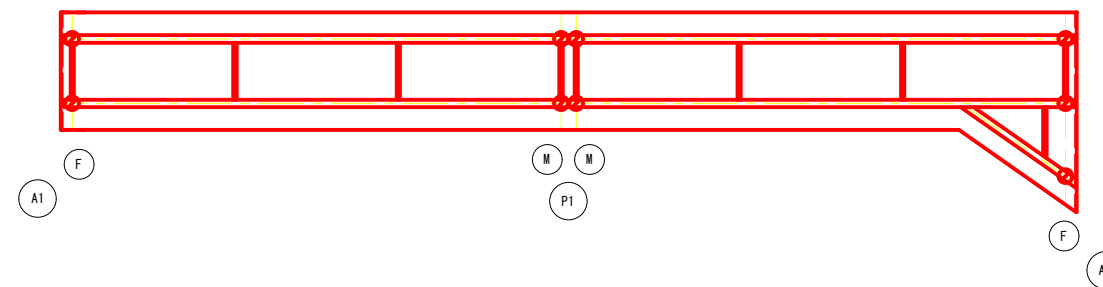


平座金 10H又は14H
注) ()内は固定側を示す。

断面図 S=1:20

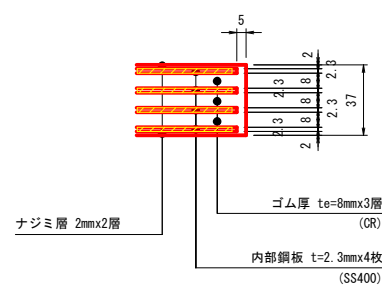
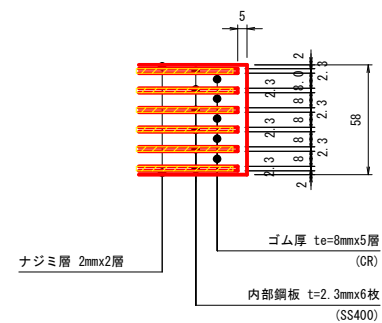


配置図



A部詳細図 S=1:2

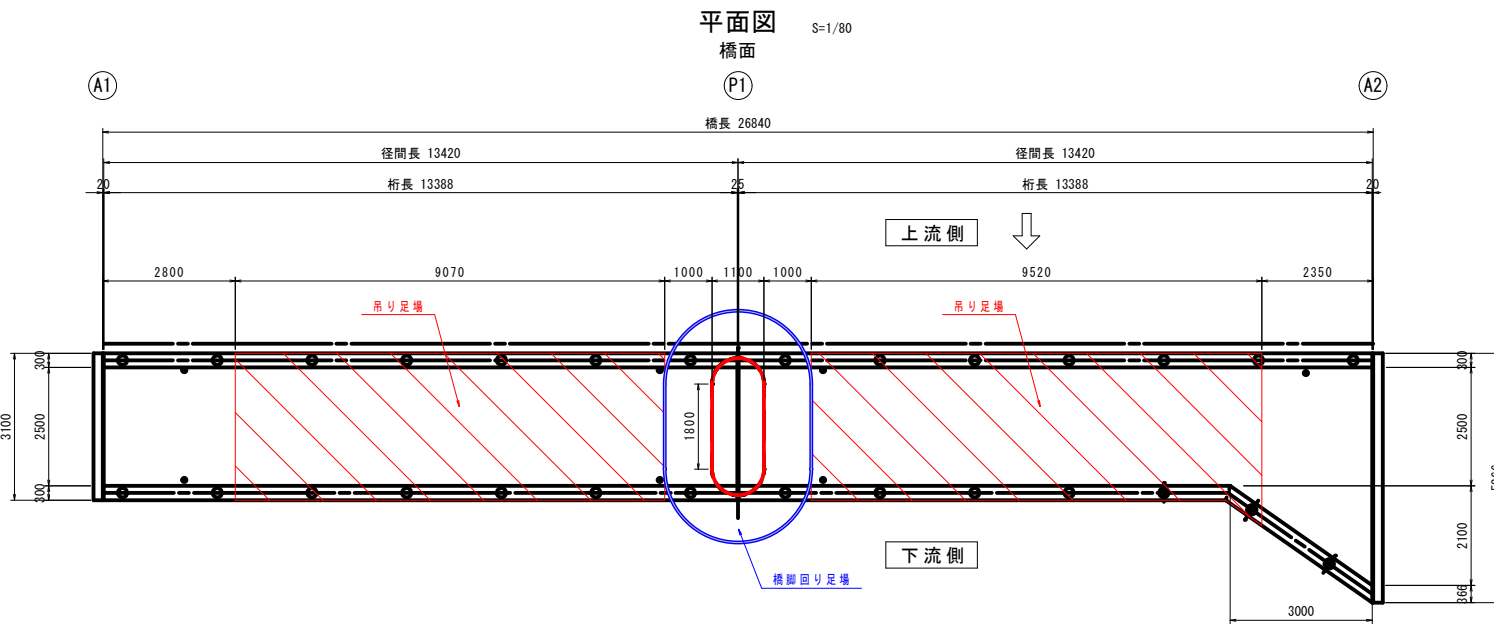
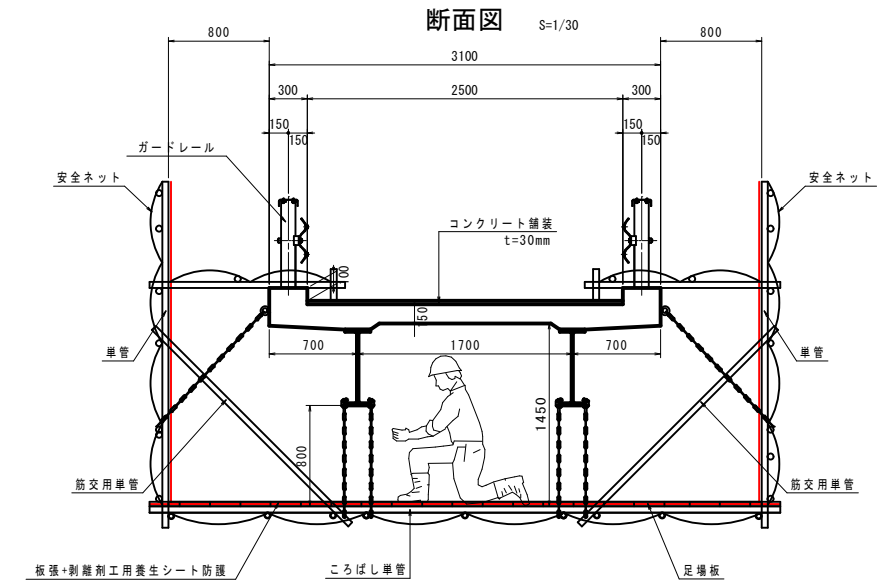
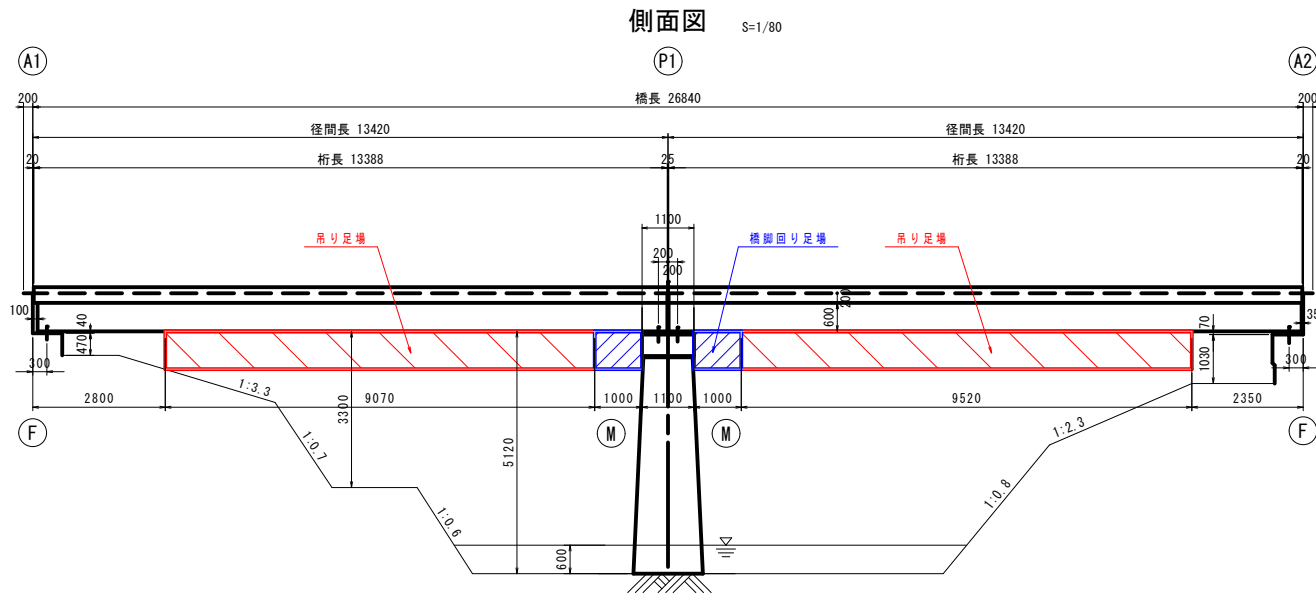
B部詳細図 S=1:2



【参考図】

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋) 支承詳細図(参考図)		
作成年月	令和3年3月		
縮 尺	図 示	図面番号	参考6
会 社 名			
事業者名	三原市		

(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)足場計画図(参考図)



吊り足場 (TYPE H)

位置	式	単位	数量	備考
A1~P1	3.1 x 9.070	m2	28.1	板張、シート張防護
P1~A2	3.1 x 9.520	m2	29.5	板張、シート張防護

注、シート張防護は剥離剤工用養生シートを適用する。

橋脚回り足場 (TYPE F)

位置	式	単位	数量	備考
P1	1.8 x 1.0 x 2 + (1.55 x P1 - 0.55 x P1)	m2	10.2	板張、シート張防護

注、シート張防護は剥離剤工用養生シートを適用する。

【注記】

1. 本図面は、既存資料及び現地計測にて作成した図面である。
2. 補修工事に当たり、寸法等は再度現地検測を行って確認すること。
3. 差戻めは足場外の仮置き場にて厳重に管理し適切に廃棄処分すること。
4. 発生材分量は現場環境に伴い大きく変化する。
5. 施工完了後に発生数量に伴い、実数を計上すること。
6. 差戻めは人体に影響する有害物質を含有するため、安全管理を徹底すること。

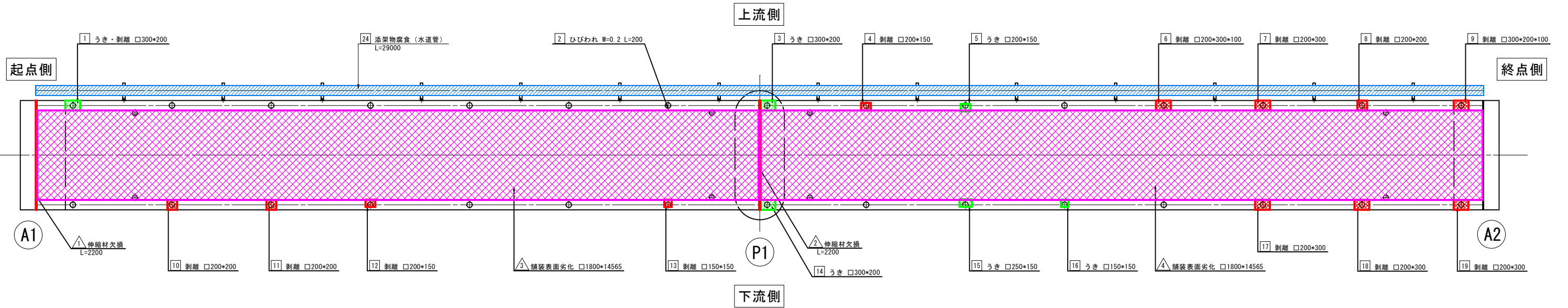
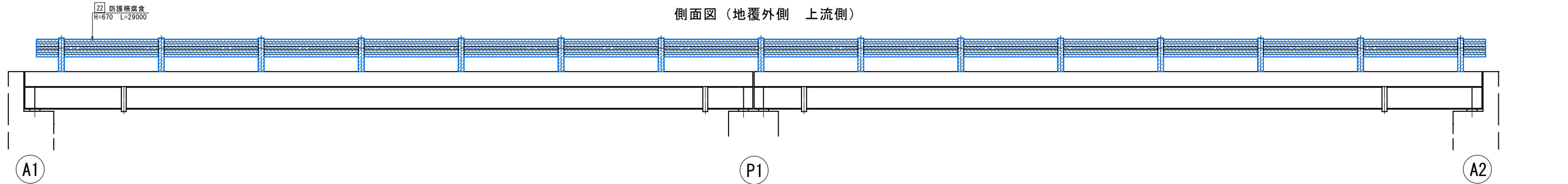
【参考図】

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	(市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋)足場計画図(参考図)		
作成年月	令和3年3月		
縮尺	図示	図面番号	参考7
会社名			
事業者名	三原市		

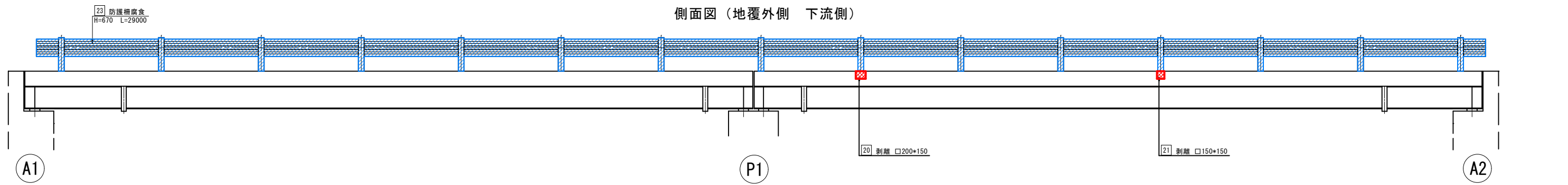
横郷橋 損傷図 (その1) S=1:40

桁上面 (A1~A2)

側面図 (地覆外側 上流側)

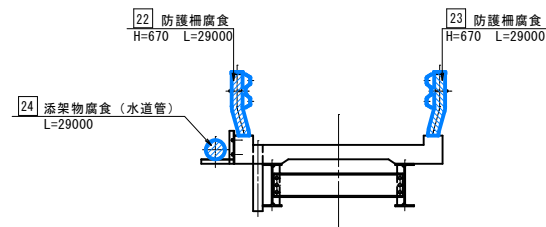


側面図 (地覆外側 下流側)



上流側

下流側



凡例

	ひび割れ
	剥離
	うき
	欠損
	その他損傷
○ □ △	写真番号

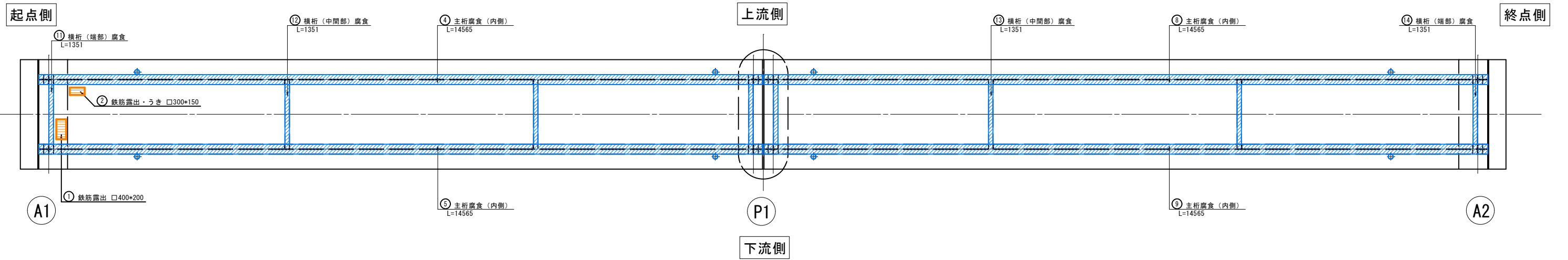
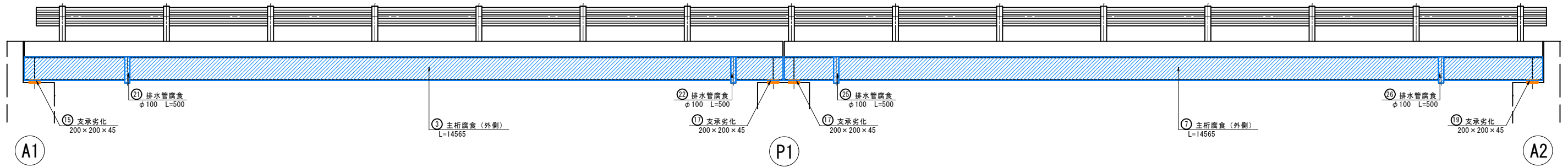
横郷橋 【参考図】

工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	横郷橋 損傷図(その1)		
作成年月日	令和 3年 9月		
縮尺	図示	図面番号	参考1
会社名			
事業者名	三原市		

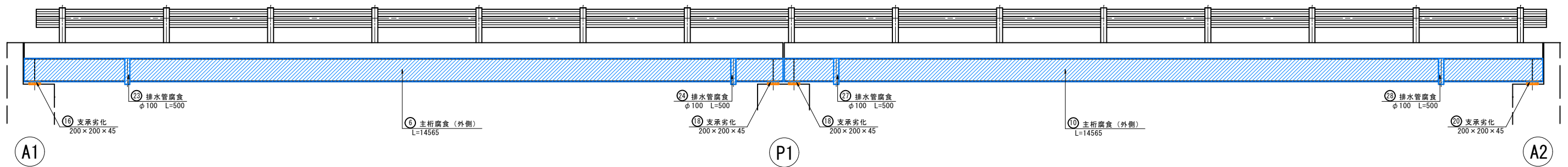
横郷橋 損傷図 (その2) S=1:40

桁下面 (A1~A2)

側面図 (地覆外側 上流側)

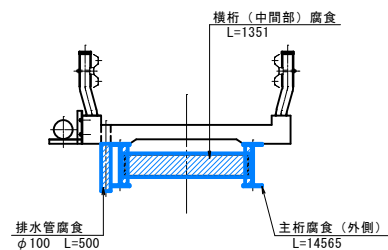


側面図 (地覆外側 下流側)



上流側

下流側



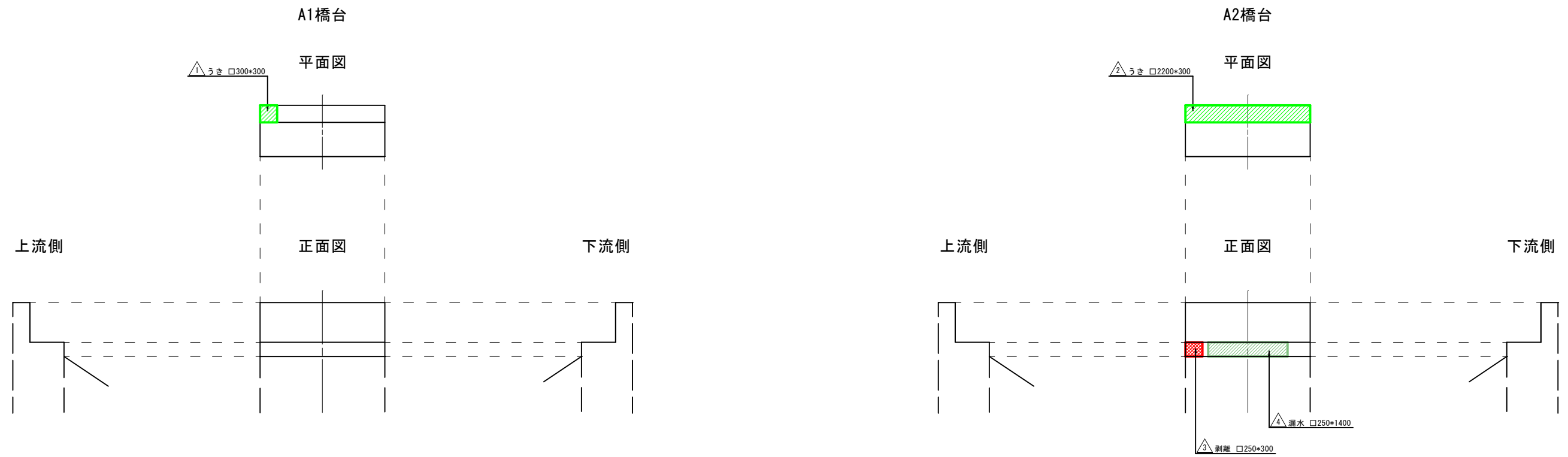
凡例

	鉄筋露出
	支承劣化
	その他損傷
	写真番号

横郷橋 【参考図】			
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	横郷橋 損傷図 (その2)		
作成年月日	令和 3年 9月		
縮尺	図示	図面番号	参考2
会社名			
事業者名	三原市		

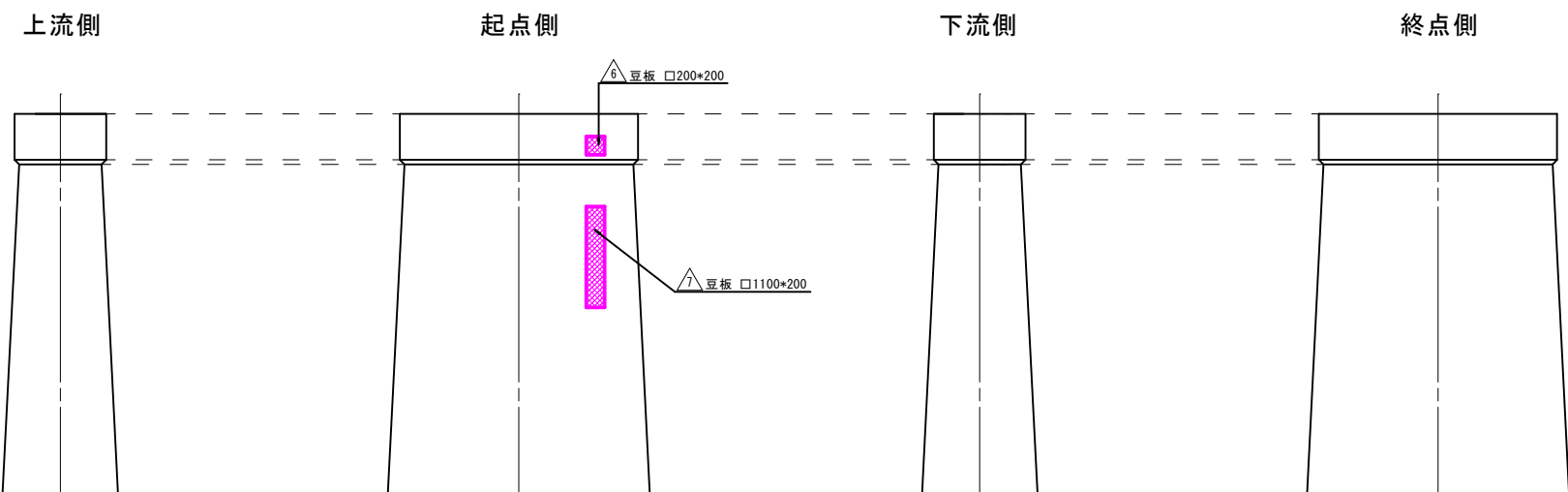
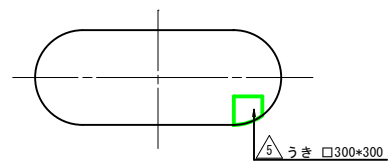
横郷橋 損傷図 (その3) S=1:40

下部工



P1橋脚

平面図



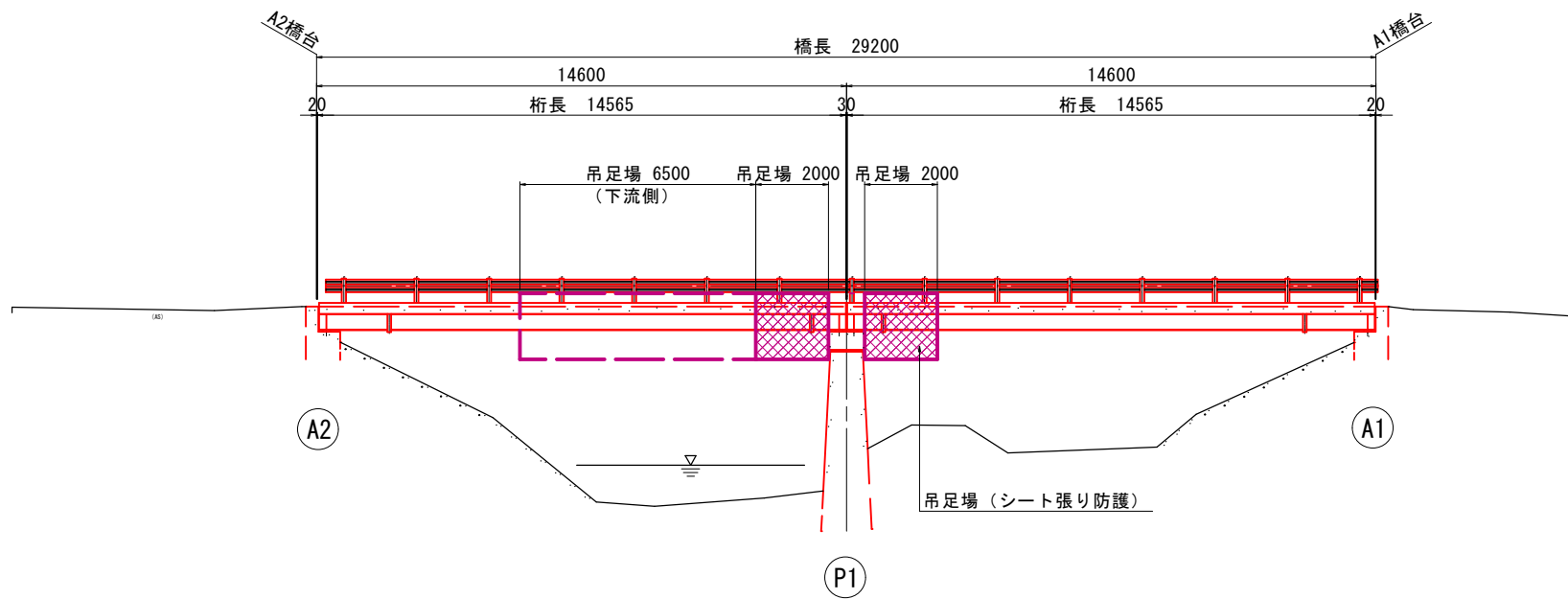
凡例

	剥離
	うき
	豆板
	漏水
○ □ △	写真番号

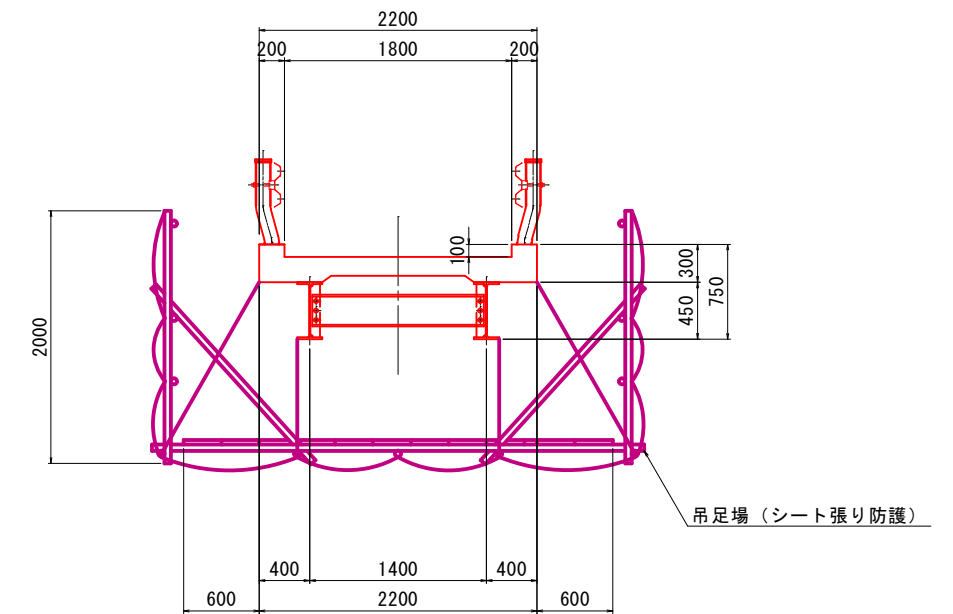
横郷橋 【参考図】			
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	横郷橋 損傷図(その3)		
作成年月日	令和 3年 9月		
縮尺	図示	図面番号	参考3
会社名			
事業者名	三原市		

横郷橋 仮設図 (吊足場参考図)

側面図 S=1:100

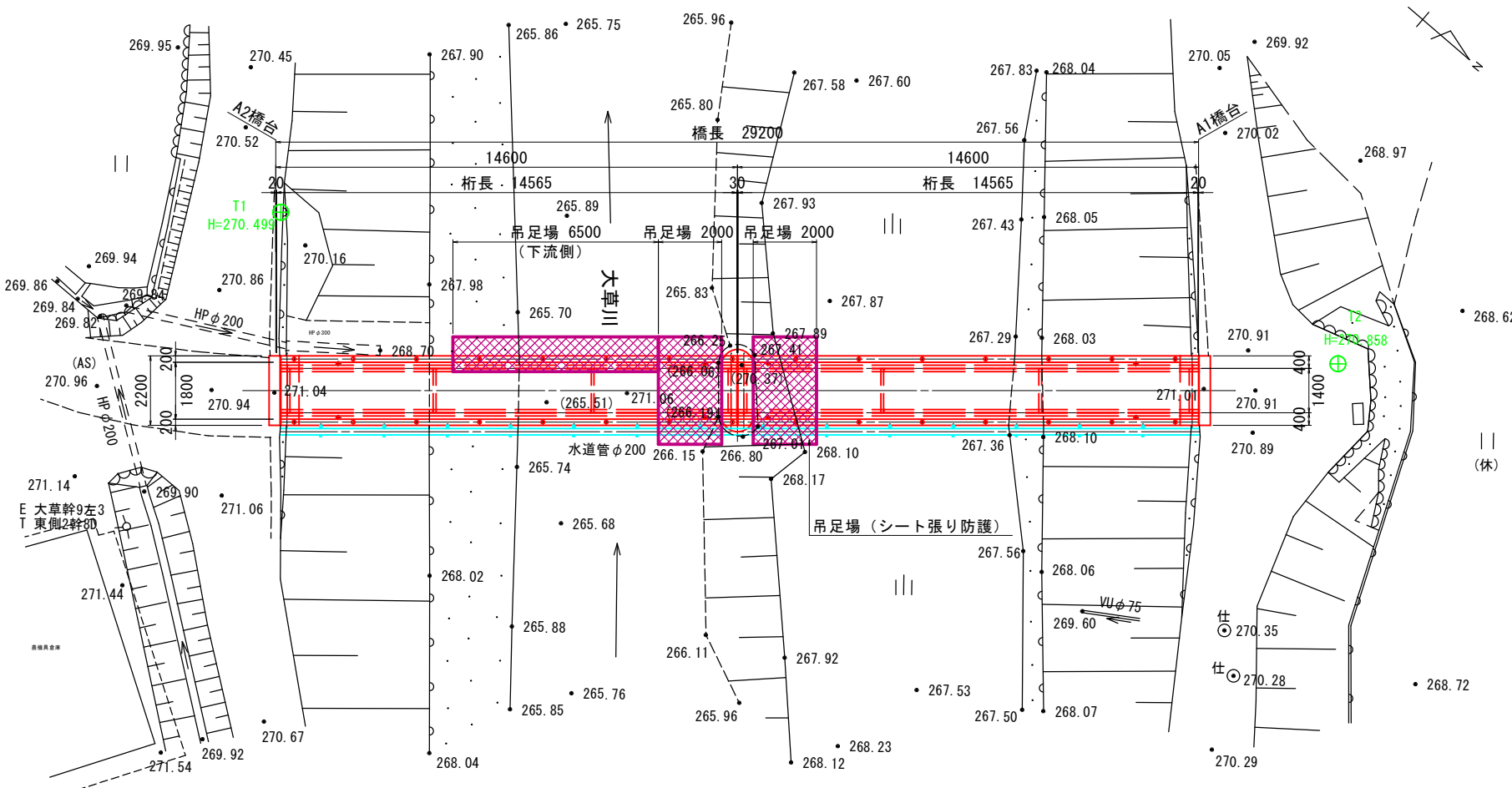


上部工断面図 S=1:30
(吊足場)

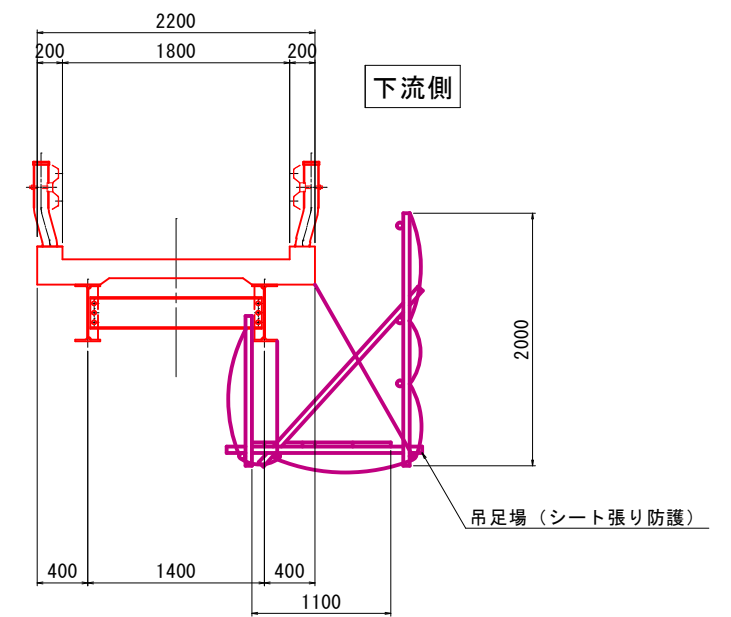


DL=260.00

平面図 S=1:100



P1~A2下流側 S=1:30



横郷橋 【参考図】			
工事名	橋梁補修工事 (市道大和町宮ノ下線宮ノ下橋外1橋)		
図面名	横郷橋 補修図 (その3)		
作成年月日	令和 3年 9月		
縮尺	図示	図面番号	参考4
会社名			
事業者名	三原市		

位置図【宮ノ下橋】
(34.53997,132.95608)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。

位置図【横郷橋】 (34.51150,132.92602)



この図は、国土地理院地図を使用したものである。